

愛知県がんセンター 概 要

令和7年度



基本理念

私たちは患者さんの立場にたって、最先端の研究成果と根拠に基づいた最良のがん医療を提供します。

The mission of Aichi Cancer Center is to provide patients suffering from cancer with compassionate care and the best treatment based on evidence and leading-edge cancer research.

基本方針

1. 患者さんの権利と尊厳を守る医療を実践します。
2. 高度な医療安全管理体制のもと、根拠に基づいた良質で高度な医療を提供します。
3. 情報を開示し、医療の透明性と信頼性を保ちます。
4. がんの予防・診断・治療の技術革新を目指した高度な医療技術の研究開発を推進します。
5. 教育と研修を充実し、高度ながん医療・研究を担う人材を育成します。
6. 愛知県がん診療連携拠点病院として地域と連携し、がん医療の普及と向上に努めます。
7. がん医療の実践、研究開発、啓発を通じて、愛知県から国際社会へ貢献します。

患者さんの権利と病院からのお願い

愛知県がんセンターは、がん専門の特定機能病院として、最先端で最良のがん医療をみなさんに提供することを使命としています。

ここに、「患者さんの権利と病院からのお願い」を明らかにし、患者さんと病院職員とがお互いに信頼感を持ち、協力してがんに立ち向かうことを宣言します。

患者さんの権利

1. 年齢、性別、障害の有無にかかわらず、誰でも良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。
2. いかなる状況でも、人格が尊重され、尊厳が保障される権利があります。
3. 十分な説明による理解のもとに、自らが受ける治療に対して意思決定をする権利があります。
4. 自らが受けている医療について、すべてを知る権利があります。
5. すべての個人情報保護される権利があります。
6. 診断や治療方針について、他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

病院からのお願い

1. 快適な療養環境を維持するため、病院の規則をお守りください。
2. ご自分の病状や健康状態を医療従事者に正確にお伝えください。
3. 他の患者さんの迷惑になる行為や診療の妨げになる行為は慎んでください。
4. 診療費は速やかにお支払いください。
5. 病院職員と連携して、医療事故の防止にご協力ください。
6. 将来のがん医療を担う医療従事者の教育・研修にご協力ください。
7. がん医療の発展のため、臨床研究にご協力ください。

愛知県がんセンター子どもの権利

1. 子どもたちは、一人の人間として尊重され良質で思いやりのある医療を受ける権利があります。
2. 子どもたちは、自分の病気や自分の受ける治療について十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
3. 子どもたちは、自分の受ける治療について自由に意見を述べ、治療方針を選択あるいは拒否する権利があります。
4. 子どもたちは、疑問に思うことや不安なことがあるときには、いつでも分かりやすく教えてもらう権利があります。
5. 子どもたちは、自分の受ける治療についての話し合いに参加し、意見を表明することが難しい場合には、ご家族や親権者に代わりに決定してもらうことができます。

目 次

目 的	2
沿 革	2
設置の根拠	3
施設の概要	3
所在地 土地・建物 病院 研究所	
組織と職員定数	8
組織 役職者一覧表 職種別・職員定数一覧表	
管理業務	10
会計予算 経営状況 がん患者状況 レジデント履修状況等	
主な備品・設備	19
備品 附属施設	
病院業務	20
診療科目等 外来診療の流れ 患者状況 治療・検査件数等	
研究業務	29
重点プロジェクト研究課題等	
類似病院との比較	32
外来診療案内・入院案内	33
交通案内	34

目 的

がんの根本的な制圧のためには、その実態を究明して積極的な予防策を講ずるとともに、早期に適切な診断と治療を行わなければならない。これらのがん対策を推進するためには、がんの基礎的研究部門からはじまる幅広い研究活動と、がんに対する高度な診断・治療の実施のほか、専門技術者の養成や診断技術の普及も必要なことである。

このため国は、昭和37年、東京に国立がんセンターを設置したが、これと呼応して愛知県においても、この種の専門施設の少ない東海地方に病院と研究所を併有した愛知県がんセンターを設置し、がん制圧の重要な拠点とすることにした。

沿 革

昭和36年 1 月12日	愛知県がん対策協議会に対し、知事から「悪性新生物の予防及び治療対策」について諮問
昭和36年 6 月19日	同協議会から知事に対し「がん対策の拠点となる、がんセンターを早急に設置する必要がある」旨答申があり、がんセンターの設置を決定
昭和39年12月 1 日	業務開始【病床数333床（特別病床32、一般病床269、術後回復病床24、ラジウム病床8）】
昭和44年 3 月31日	病床22床増床（特別病床）
昭和58年11月22日	診療管理棟竣工
昭和63年 8 月31日	生物工学総合実験棟竣工
平成 3 年12月20日	特殊放射線・診療棟竣工
平成 4 年 2 月29日	病棟竣工
平成 4 年 5 月18日	新病院棟業務開始【病床数500床（特別病床80、一般病床393、特殊病床27）】
平成 6 年 3 月18日	国際医学交流センター・外来棟竣工
平成 6 年 5 月24日	国際医学交流センター・外来棟業務開始
平成 7 年 6 月30日	立体駐車場竣工
平成 9 年 3 月20日	研究所代替施設改修工事竣工
平成12年 3 月10日	特定承認保険医療機関 承認
平成14年 1 月11日	新研究所棟竣工
平成14年 2 月 7 日	（名称変更）新研究所棟→研究所棟本館、診療管理棟→研究所棟北館
平成14年 4 月 1 日	臨床研修病院の指定
平成14年 8 月13日	地域がん診療拠点病院の指定
平成16年 4 月 1 日	地方公営企業法の全部適用
平成17年 4 月 1 日	愛知病院（岡崎市、病床数306床）を統合
平成18年 9 月21日	医療法人名古屋放射線診断財団とPET-CT検査診療所整備運営等に関する基本協定書締結
平成19年 1 月31日	都道府県がん診療連携拠点病院の指定
平成22年10月 1 日	尾張診療所（一宮市）開設
平成25年 7 月 1 日	外来化学療法センター開設
平成26年 3 月31日	尾張診療所（一宮市）閉所
平成26年 4 月 1 日	地域医療連携・相談支援センター/緩和ケアセンター開設
平成28年10月 1 日	サルコマーセンター開設
平成29年 4 月 1 日	個別化医療センター開設
平成30年 4 月 1 日	リスク評価センター開設
平成31年 3 月28日	がんゲノム医療センター開設
平成31年 4 月 1 日	愛知病院が岡崎市へ移管
平成31年 4 月 1 日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新
令和元年 9 月19日	がんゲノム医療拠点病院の指定
令和 2 年 7 月 3 日	病院機能評価「一般病院3」の認定（機能種別版評価項目 3rdG:ver2.0） 認定期間：令和元年 9 月27日～令和 6 年 9 月26日
令和 3 年 5 月24日	愛知県がんセンター名古屋空港ターミナルビル診療所を開設
令和 4 年 4 月 1 日	個別化医療センター、リスク評価センター、がんゲノム医療センターを統合し、ゲノム医療センターを開設
令和 4 年12月 1 日	特定機能病院として承認
令和 5 年 3 月25日	愛知県がんセンター名古屋空港ターミナルビル診療所を閉所
令和 5 年 4 月 1 日	都道府県がん診療連携拠点病院の更新
令和 6 年 4 月 1 日	がんゲノム医療拠点病院の更新 都道府県がん診療連携拠点病院の更新

設置の根拠

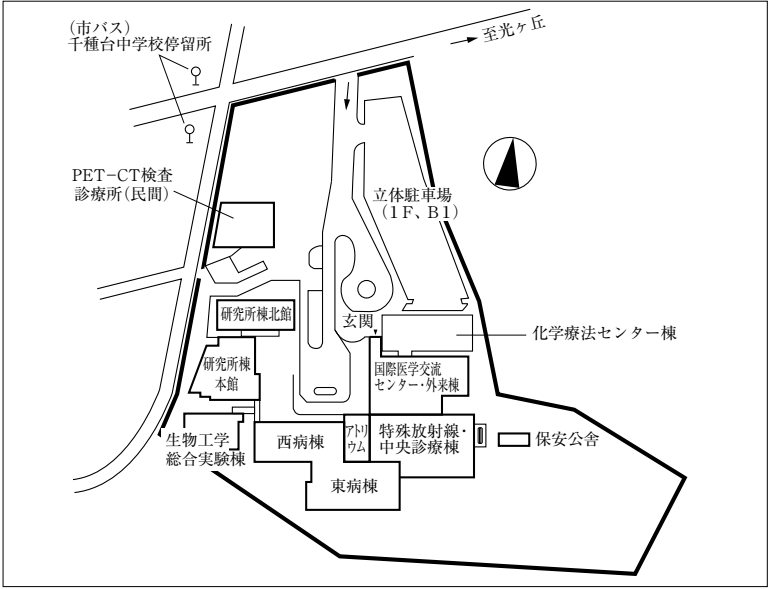
設立当初・愛知県がんセンター条例（昭和39年条例第60号）運用部、病院、研究所の3部門を設置
現 在・愛知県病院事業の設置等に関する条例（昭和41年条例第36号）

業務の内容

- ア 悪性新生物に関する予防、診断及び治療を行うこと
- イ 悪性新生物に関する予防、診断及び治療についての臨床研究、調査及び研究開発を行うこと
- ウ 悪性新生物に関する技術者及び研究者の研修を行うこと
- エ 悪性新生物に関する調査及び研究開発を行う者に施設を利用させること

施設の概要

所在地 名古屋市千種区鹿子殿1番1号 (令和7年4月1日現在)



土地・建物 (令和7年4月1日現在)

区分		構造・規模	延床面積
土地			49,788.56 m ²
建物	合計		69,580.13 m ²
	病棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上9階 搭屋2階	28,662.79 m ²
	特殊放射線・中央診療棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上5階	12,274.96 m ²
	国際医学交流センター・外来棟	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階	7,203.43 m ²
	化学療法センター棟	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階	1,992.92 m ²
	研究所棟本館	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上6階	7,112.72 m ²
	研究所棟北館	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	3,244.43 m ²
	生物工学総合実験棟	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階 搭屋1階	2,116.03 m ²
	保安公舎	鉄筋コンクリート造 地上3階	313.92 m ²
	立体駐車場	鉄筋コンクリート造2層建	6,312.07 m ²
	その他	危険物倉庫・ごみ集積場・保管庫等	346.86 m ²

病 院

(令和7年4月1日現在)

(東) 病 棟 (西)

			内 容	病床数	階別	内 容	病床数
特殊放射線・中央診療棟			機械室		搭屋	機械室	
			特別病棟 (混合)	25床	9 階	特別病棟 (混合)	25床
			特別病棟 (混合)	30床	8 階	一般病棟 (薬物療法科、頭頸部外科、整形 外科 治療、緩和ケア(緊急))	52床
			一般病棟 (消化器内科・消化器外科・ 薬物療法科)	51床	7 階	一般病棟 (消化器外科・消化器内科 薬物療法科)	52床
			一般病棟 (呼吸器内科、泌尿器科、感 染症病床)	51床	6 階	一般病棟 (血液・細胞療法科、泌尿器科、放射 線診断科、IVR科、呼吸器内科、治療)	51床
	空調機械室	小線源病棟 (放射線治療科) (4床) (頭頸部外科、脳神経外科) (48床)	一般病棟	52床	5 階	一般病棟 (女性専用) (乳腺科、婦人科)	51床
手術部門、輸血部門 外来処置室			ICU病棟	8 床	4 階	一般病棟 (呼吸器外科・内科、 薬物療法科、治療)	52床
臨床検査部門			アイソトープ検査部門 管理部門(看護部)等		3 階	管理部門 (総長室、病院長室等)	
放射線診断・I V R 部門			内視鏡部門 生理検査部門		2 階	管理部門 (医局等)	
中央滅菌材料室、供給部門			憩いのフロア、アトリウム (食堂、売店等)		1 階	入院受付 管理部門 (運用部等)	
放射線治療部門、電気室			栄養管理部門		地階	中央監視室、熱源機械室	

(病床合計 500床)

国際医学交流センター・外来棟

階 別	内 容
3 階	外科系診察室、臨床検査部門 (一部)、緩和ケアセンター
2 階	総合案内、外来受付、予約受付、会計、内科系診察室、地域医療連携・相談支援センター、 薬剤部門 (薬局受付)、臨床検査部門 (一部) 等
1 階	国際医学交流センター (メインホール、大会議室、視聴覚室等)
地 階	薬剤部門 (供給室等)、カルテ・フィルム庫

化学療法センター棟

階 別	内 容
2 階	外来化学療法センター
1 階	臨床試験部門
地 階	薬剤部門 (ミキシング室等)

新規リニアック装置（OXRAY）

2025年6月に新規リニアック装置の稼動を開始予定である（写真）。強度変調放射線治療（IMRT）や定位放射線治療（ピンポイント照射）などの高精度放射線治療の需要は年々増加しており本治療器はこれらの臨床的ニーズに対応すべく導入された。本治療器は国産唯一の外部照射装置で全周性の照射システムのOリングガントリーが寝台に対して回転することにより患者移動なく効率よく定位放射線治療が実施可能となる。また内蔵のジンバル機能により追尾照射（息止めなく肺病巣に最小の照射範囲で正確に治療ができる）も可能となる。Dynamic swing arc治療というこの装置のみが実施可能な高精度のIMRTの実施が可能となり従来のIMRTの技術より正常臓器への放射線量を飛躍的に低減することが可能となる。この装置の導入により高精度放射線治療の実施件数の増加、精度の向上が可能となり、かつ患者さんにより有効で安全な治療を提供することが可能となる。また本邦でもまだ設置施設は極めて少ないことより新規治療件数の増加が期待される。

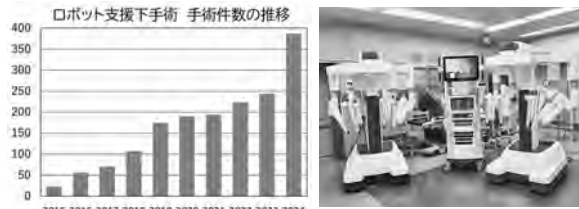


2台目のダヴィンチ購入

近年、外科領域では低侵襲手術の発展が著しく、当院でも低侵襲手術を積極的に進めてきている。2016年にはdaVinci Xiを導入し、ロボット支援下手術を開始した。このシステムの導入により、手術の精度が向上し、患者さんへの負担も大幅に軽減された。

その後もロボット支援下手術の件数は増加したが、その件数は年間200件を越え、稼働率はほぼ100%に達して頭打ちとなったため、2024年度、2台目のdaVinci Xiを導入した。これにより、2024年度は387件とさらに多くのロボット支援下手術を実施することが可能となった。

今後も、最新の技術を積極的に取り入れ、患者さんに最良の医療を提供できるよう努めてまいり所存である。



入退院支援センター改装

入退院支援センターは2024年4月に地域医療連携・相談支援センター内に新設され、入院前支援看護師と退院調整看護師が在籍している。入院前支援看護師は、入院が決定した患者、家族へ問診を実施し、退院後の生活を見据えた早期アセスメント、入院中に必要なケアの充実を目指している。2024年10月には相談支援センター内に半個室の入院前問診のブースを新設し、プライバシーの確保に留意しつつ、1日30名以上の入院患者の面談が実施できるようになった。また、手術や検査に関するオリエンテーションを入院前問診のブースで実施することで、治療に関する不安や心配事に関しても、ゆっくりと話しを伺うことができるようになった。患者のニーズに応じて、相談員やがん看護外来へ連携する等、入院前の早期から他職種で協働し最善の治療が受けていただけるよう支援に努めている。

入院後は、3日以内に退院調整看護師と病棟看護師が連携し、入院前問診で得た情報やアセスメントをもとに、退院支援カンファレンスを実施し、治療後も安心して生活の場に戻れるように支援、調整を行っている。



MDアンダーソンがんセンターとの連携

米国テキサス州ヒューストンを拠点とする世界最大規模の総合がんセンターであるMDアンダーソンがんセンターと、以下の様な連携を図っている。



- 1 共同研究
令和6年度から、共同研究を3件実施している。
- 2 人材交流
令和6年度は医師を4名派遣し、現地で互いの研究内容や共同研究の可能性、データ解析における人工知能技術の活用について情報交換するとともに、電子カルテシステムからの情報集約・統合解析システムの見学、今後の連携等について話し合った。令和7年度は、1名あたり3か月の派遣期間で、年間で2名の派遣を予定している。
- 3 シンポジウム
令和7年2月15日、令和6年12月1日に迎えた開設60周年の記念事業の一つとして、MDアンダーソンがんセンターの研究者を招聘して、合同シンポジウムを開催した。テーマは、「Collaborative Horizons in Cancer Research: Translational, Clinical, and Epidemiological Perspectives (共同事業によるがん研究の新たな展開：トランスレーショナル研究、臨床研究、疫学研究からの展望)」で、MDアンダーソンがんセンターのDr. Samir Hanashによる基調講演を始め、当センター及びMDアンダーソンがんセンターの両施設併せて10名の演者が講演を行った。令和7年度は、Webによるシンポジウムを予定している。

統合がん臨床データベース

内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム研究開発事業テーマにおける課題「統合型ヘルスケアシステムの構築」に向けて進められている「がん診療についての統合的臨床データベースの社会実装」に、静岡県立静岡がんセンター、地方独立行政法人東京都立病院機構がんと・感染症センター都立駒込病院とともに参画した。

本取組により、電子カルテや部門システム等の様々なデータベースに分散したがん診療情報を自動的・半自動的に取り込み、一元管理できるようになるため、多施設統合がん臨床データベースが構築できるようになる。さらに、将来、迅速な治験マッチングや、豊富な臨床データを活用した日本発の医薬品・医療機器開発につながる事が期待される。

Webサイトリニューアル

愛知県がんセンターが提供する高度で良質な専門医療や患者支援・地域連携について、高評価を得ている治療・研究の実績等とともに、分かりやすく広く情報を発信する「取組の見える化」の一環として、研究所と病院が一体となった総合がんセンターとしての立ち位置とその意義を明確にアピールでき、且つ、患者さんやそのご家族並びに紹介元の病院・クリニックが使いやすいよう、令和6年10月にWebサイトをリニューアルした。

がん医療の均てん化が進んだ今日において、今後も、がん研究と医療の双方の専門家が集結した総合がんセンターとしての強みを改めて明確に打ち出せるよう、当センターの価値を正しく伝える施策を打っていきたい。



研 究 所

(令和7年4月1日現在)

研究所棟本館

	フロア	南	北	フロア	
生物工学総合実験棟	6階	電気室	空調機械スペース	6階	研究所棟北館
	5階	腫瘍免疫応答研究分野	(腫瘍免疫制御TR分野)	5階	
	4階	(分子診断TR分野)	腫瘍制御学分野	4階	
空調機械スペース	3階	がん標的治療TR分野	がん病態生理学分野	3階	空調機械スペース
異分野融合研究開発分野 先端イノベーション研究開発ユニット	2階	がん予防研究分野 がん情報・対策研究分野	分子腫瘍学分野	2階	所長室 セミナー室 がん情報・対策研究分野 システム解析学分野 がん予防研究分野 他
共通機器室管理室 バイオバンク部門 医局	1階	共通機器室	共通機器室実験室	1階	図書室 共通機器室 小会議室 レジデント室 他
バイオバンク部門 共通機器室 学生研修室・更衣室 会議室	地階	熱源機械室	実験動物飼育・実験室 その他	地階	電算機室 保育所 他
空調機械室 電気室					電気室 その他

平成14年1月に竣工した研究所棟本館は、地下1階地上5階（一部6階）、総床面積7,113㎡である。2階から5階には9つの分野の研究室と、各フロア共同のRI実験室や材料保存室、暗室などが設置されている。1階の共通機器室には最先端の研究用精密機器が整備され、地下には動物実験施設が設置されている。

研究所棟北館は地下1階地上3階、総床面積3,244㎡で、所長室等の管理部門、3つの分野の研究室、共通機器室、がん登録室、図書室、セミナー室、電算機室などが設置され、平成26年4月からは保育所も

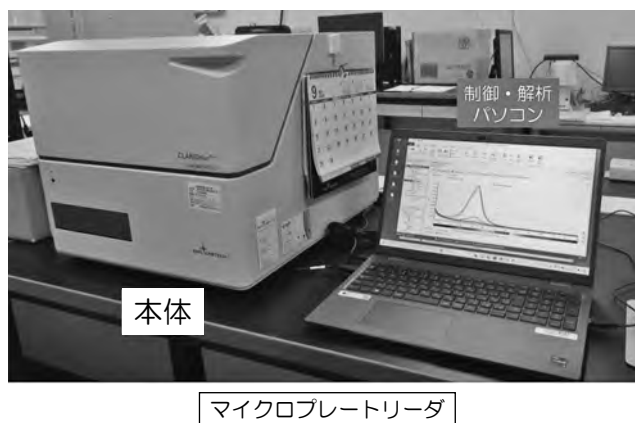
開設されている。

生物工学総合実験棟は、地下1階地上3階、総床面積2,116㎡の共同利用特殊実験棟として、昭和63年に完成した。1階、2階は平成29年度に改修され、1階にはがんセンターバイオバンク愛知のフリーザー室、共通機器室、2階には共通機器室管理室に加えて、同バイオバンクの作業室が整備された。3階は令和元年度に改修され、現在は、名古屋大学との連携により令和7年度に発足した「異分野融合イノベーション推進領域」の研究室（1分野、1ユニット）が設置されている。



1. マイクロプレートリーダー

マイクロプレートリーダーは、プレートの6-384個の穴に試料を入れ、それらの吸光度や蛍光強度を連続で自動的に測定する機器である。酵素反応、細胞増殖、薬剤結合アッセイ、細胞毒性試験など、様々な用途で用いることができる。以前からある機器の後継機として整備されたが、TR-FRETなどの新しい分析手法にも対応しており、非常に使用頻度の高い機器となっている。



2. 超遠心機

超遠心機は、試料を入れた専用のチューブを毎分数万回転以上の超高速で回転させて、遠心力によって生体高分子を分離精製する機器である。古くから生物学研究に用いられてきた機器であり、以前は核酸やたんぱく質の精製に盛んに用いられてきた。近年では、細胞外小胞やウイルス粒子の精製に高頻度で用いられる機器となっている。研究所では、近年再度使用頻度が上昇してきたため、更新機器として整備された。



3. 自動電気泳動システム

細胞や組織から抽出したDNAおよびRNAの品質を調べる装置である。DNAやRNAは抽出後、次世代シーケンサやマイクロアレイなどにかけて、解析が行われるが、その元となるDNA、RNAの品質は解析の精度に影響するため、それらの品質を管理することは重要である。本装置の専用の解析ソフト、試薬を用いることで、簡便かつ正確にDNA、RNAの品質を調べることが可能となる。



4. スライドスキャナ

スライドスキャナは、病理組織標本のスライドガラスを高速でスキャンして、高精細で定量性の高いデジタル画像を取得する装置である。多数のスライドガラスを高速で自動処理することができる。デジタルデータが得られるため、染色結果の経年劣化を回避できるだけでなく、数値化も容易となり、定量的な解析が可能となる。さらに研究者間でデータを共有することも容易である。



組織と職員定数

組 織 (令和7年4月1日現在)



役職者一覧表

(令和7年4月1日現在)

役 職 名			氏 名	備 考	役 職 名			氏 名	備 考
総 運 用 部	総 長		丹 羽 康 正	事務取扱	病 院	感 染 症 内 科 部 長		欠	
	運 用 部 長		横 井 満			緩 和 ケ ア 部 長		下 山 理 史	
	管 理 課 長		稲 吉 久 恵			精 神 腫 瘍 科 部 長		小 森 康 永	
	経 営 戦 略 課 長		鈴 木 雅 登			看 護 部 長		山 崎 祥 子	副院長(兼)
病 院	病 院 長		山 本 一 仁		院	薬 剤 部 長		内 田 幸 作	
	副 院 長		室 圭			臨 床 薬 剤 部 長		加 藤 正 孝	
			花 井 信 広			栄 養 管 理 部 長		田 近 正 洋	内視鏡部長(兼)
			山 崎 祥 子			医 療 安 全 管 理 部 長		室 圭	副院長(兼)
	消化器内科部長		原 和 生			感 染 制 御 部 長		藤 原 豊	呼吸器内科部長(兼)
	内 視 鏡 部 長		田 近 正 洋			臨 床 試 験 部 長		安 藤 正 志	
	呼吸器内科部長		藤 原 豊			医 療 情 報 管 理 部 長		佐 藤 洋 造	放射線IVR部長(兼)
	血液・細胞療法部長		楠 本 茂			外来化学療法センター長		室 圭	副院長(兼)
	薬 物 療 法 部 長		室 圭	副院長(兼)		希少がん・サルコマセンター長		筑 紫 聡	整形外科部長(兼)
	臨 床 検 査 部 長		欠			ゲノム医療センター長		衣 斐 寛 倫	
	遺伝子病理診断部長		細 田 和 貴		研 究 所	地域医療連携・相談支援センター長		花 井 信 広	副院長(兼)
	輸 血 部 長		楠 本 茂	血液・細胞療法部長(兼)		緩和ケアセンター長		下 山 理 史	緩和ケア部長(兼)
	頭頸部外科部長		花 井 信 広	副院長(兼)		研 究 所 長		井 本 逸 勢	
	形成外科部長		奥 村 誠 子			副 所 長		関 戸 好 孝	
	呼吸器外科部長		坂 倉 範 昭			副 所 長		青 木 正 博	
	乳 腺 科 部 長		原 文 堅			がん情報・対策研究分野長		伊 藤 秀 美	
	消化器外科部長		安 部 哲 也			がん予防研究分野長		松 尾 恵 太 郎	
	整 形 外 科 部 長		筑 紫 聡			がん病態生理学分野長		青 木 正 博	副所長(兼)
	リハビリテーション部長		吉 田 雅 博			分子腫瘍学分野長		関 戸 好 孝	副所長(兼)
	泌 尿 器 科 部 長		小 島 崇 宏			システム解析学分野長		山 口 類	
院	婦 人 科 部 長		鈴 木 史 朗			腫瘍制御学分野長		小 根 山 千 歳	
	脳神経外科部長		大 野 真 佐 輔			腫瘍免疫応答研究分野長		鍋 倉 宰	
	麻 酔 科 部 長		仲 田 純 也		所	腫瘍免疫制御トランスレーショナルリサーチ分野長		欠	
	集中治療部長		小 森 康 司			分子診断トランスレーショナルリサーチ分野長		欠	
	放射線診断部長		稲 葉 吉 隆			がん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野長		衣 斐 寛 倫	病院ゲノム医療センター長(兼)
	放射線I V R 部 長		佐 藤 洋 造			異分野融合研究開発分野長		山 西 芳 裕	(名古屋大学大学院教授)
	放射線治療部長		古 平 毅			先端インベーション研究開発分野長		欠	
	外 来 部 長		堀 尾 芳 嗣			共 通 機 器 室 長		青 木 正 博	副所長(兼)
	手 術 部 長		伊 藤 誠 二			バイオバンク部門長		松 尾 恵 太 郎	がん予防研究分野長(兼)
	循環器科部長		欠						

職種別・職員定数一覧表

(令和7年4月1日現在)

職種別	部門別	総 数	運 用 部	病 院	研 究 所
総 数		7 8 9	3 4	7 0 2	5 3
事 務		4 0	3 3	7	
医 療 社 会 事 業 員		2		2	
医 師		1 6 1	1	1 3 1	2 9
歯 科 医 師		2		1	1
理 学 士 ・ 研 究 員		1 3		1	1 2
診 療 放 射 線 技 師		3 0		3 0	
理 学 療 法 士		5		5	
言 語 聴 覚 士		1		1	
作 業 療 法 士		1		1	
薬 剤 師		3 8		3 8	
臨 床 検 査 技 師		3 2		3 1	1
臨 床 工 学 技 士		7		7	
看 護 師		4 0 9		4 0 9	
看 護 助 手		1		1	
栄 養 士		3		3	
歯 科 衛 生 士		1		1	
そ の 他 給 食 関 係 職 員		1 2		1 2	
臨床試験コーディネーター		1 4		1 4	
遺 伝 カ ウ ン セ ラ ー		3		3	
診 療 情 報 管 理 士		4		4	
研 究 補 助		1 0			1 0

管理業務

会計予算

(収益の収入支出)

(単位：千円)

(款) 項	目	金 額	
		令和 6 年度当初予算	令和 7 年度当初予算
(事 業 収 益)		28,312,088	28,384,811
医 業 収 益		25,097,502	25,191,820
	入 院 収 益	11,849,022	12,027,984
	外 来 収 益	10,502,735	10,500,723
	一般会計負担金	1,313,129	1,237,502
	その他医業収益	1,432,616	1,425,611
医 業 外 収 益		3,214,586	3,192,991
	受取利息配当金	1	1
	一般会計負担金	1,665,319	1,717,060
	一般会計補助金	1,395	1,713
	国 庫 補 助 金	33,946	33,996
	長期前受金戻入	113,674	135,818
	資本費繰入収益	629,314	522,830
	その他医業外収益	770,937	781,573
特 別 利 益	特 別 利 益	0	0
(事 業 費)		27,458,656	27,727,530
医 業 費 用		27,199,460	27,449,280
	給 与 費	9,995,273	10,203,102
	材 料 費	11,175,047	11,226,444
	経 費	3,502,101	3,554,780
	減 価 償 却 費	1,474,032	1,446,281
	資 産 減 耗 費	35,632	27,888
	研 究 研 修 費	1,017,375	990,785
医 業 外 費 用		254,196	273,250
	支払利息・企債諸費	48,956	68,589
	長期前払消費税償却	76,991	93,075
	雑 損 失	8,001	8,001
	消費税及び地方消費税	120,248	103,585
特 別 損 失		0	0
予 備 費	予 備 費	5,000	5,000
差 引 損 益		853,432	657,281

(資本的収入支出)

(単位：千円)

(款) 項	目	金 額	
		令和 6 年度当初予算	令和 7 年度当初予算
(資本的収入)		2,005,226	1,347,202
企業債	企業債	1,250,910	699,330
国庫支出金	国庫補助金	0	0
他会計負担金	一般会計負担金	608,294	522,872
他会計補助金	一般会計補助金	0	0
雑収入	雑収入	146,022	125,000
(資本的支出)		2,654,257	2,028,741
建設改良費		46,970	60,280
	建設費	0	0
	改良費	46,970	60,280
資産購入費		1,736,009	1,150,135
	医療器械購入費	1,353,812	794,973
	備品購入費	50	50
	リース債務費	382,147	355,112
企業債償還金	企業債償還金	871,278	723,590
他会計借入金償還金	一般会計借入金償還金	0	94,736
収 支		△ 649,031	△ 681,539

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は過年度分の留保資金で充当する。

経営状況

(単位：千円・税抜き)

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
事業収益		23,570,460	24,066,253	22,912,356	25,398,419	26,021,241
内 訳	入院収益	8,748,638	8,575,384	8,332,581	9,774,368	10,651,274
	外来収益	9,430,326	8,875,168	9,088,114	10,298,438	10,142,447
	一般会計負担金	2,700,086	2,768,775	2,635,825	2,849,897	2,868,216
	その他	2,691,410	3,846,926	2,855,836	2,475,716	2,359,304
	特別利益	0	0	0	0	0
事業費用		23,069,283	23,051,059	23,948,783	25,075,023	26,057,754
内 訳	給与費	8,771,115	9,036,220	9,155,811	9,131,758	9,568,516
	その他	14,298,168	14,004,589	14,468,105	15,943,265	16,489,238
	特別損失	0	10,250	324,867	0	0
純 損 益		501,177	1,015,194	△ 1,036,427	323,396	△ 36,513

がん患者状況（院内登録）

年次別・部位別がん患者数（男女計）1964－2023

※平成8年までは、ICD9による集計

がんの部位 区分 (ICD10)	全部位 (C00～ D09)	食道 がん (C15)	胃がん (C16)	結腸 がん (C18)	直腸 がん (C19～C21)	肝臓 がん (C22)	頭頸部 のがん (C00～C14 C30～C32)	肺がん (C33,C34)	乳房 がん (C50)	子宮 がん (C53～C55 C58)	泌尿器 のがん (C60～C68)	甲状腺 がん (C73)	悪性 リンパ腫 (C82,C84, C85,C96)	白血病 (C91～C95)	その他の がん
昭和39年(1964)	65	2	18	0	2	0	11	5	10	10	2	0	0	0	5
昭和40年(1965)	1,437	43	506	20	58	16	109	99	167	245	19	13	15	19	108
昭和41年(1966)	1,606	51	549	28	68	20	145	101	207	257	19	19	23	17	102
昭和42年(1967)	1,525	40	525	32	62	25	136	114	156	263	24	13	21	12	102
昭和43年(1968)	1,485	36	448	25	49	23	125	115	191	291	23	21	23	20	95
昭和44年(1969)	1,572	42	488	20	68	21	131	120	203	287	19	22	26	10	115
昭和45年(1970)	1,566	48	437	36	62	27	124	124	222	287	21	20	21	23	114
昭和46年(1971)	1,639	45	438	32	59	37	149	125	228	303	21	30	26	12	134
昭和47年(1972)	1,659	46	427	40	70	30	155	152	242	297	20	19	29	17	115
昭和48年(1973)	1,494	41	390	32	73	28	116	132	190	282	12	26	31	13	128
昭和49年(1974)	1,366	54	348	36	61	9	114	121	225	222	14	25	29	9	99
昭和50年(1975)	1,427	38	375	42	65	13	100	133	214	243	9	28	35	19	113
昭和51年(1976)	1,330	39	353	32	92	25	66	119	205	236	12	18	36	2	95
昭和52年(1977)	1,286	37	327	49	85	14	62	111	201	215	8	20	24	15	118
昭和53年(1978)	1,400	53	347	44	76	15	70	134	232	212	15	24	23	9	146
昭和54年(1979)	1,370	37	339	54	49	28	84	132	243	197	12	25	39	9	122
昭和55年(1980)	1,386	48	335	56	72	23	68	136	290	165	15	27	31	14	106
昭和56年(1981)	1,371	43	327	48	73	32	51	144	304	162	16	22	31	11	107
昭和57年(1982)	1,353	35	297	50	70	27	69	154	320	172	10	15	30	13	91
昭和58年(1983)	1,420	50	301	78	86	26	72	156	300	162	12	19	38	13	107
昭和59年(1984)	1,378	42	309	74	69	27	65	141	333	135	7	15	32	16	113
昭和60年(1985)	1,515	37	303	79	78	38	88	159	370	142	15	19	53	3	131
昭和61年(1986)	1,440	39	323	61	75	43	68	135	336	152	9	22	54	6	117
昭和62年(1987)	1,424	34	278	77	75	35	76	161	341	142	15	20	38	11	121
昭和63年(1988)	1,456	39	283	111	61	30	86	166	352	148	6	20	40	11	103
平成元年(1989)	1,287	33	277	68	55	32	86	157	275	141	7	28	34	10	84
平成2年(1990)	1,317	39	252	85	75	46	98	131	247	154	9	31	40	7	103
平成3年(1991)	1,298	39	225	100	73	40	67	141	283	168	6	22	36	10	88
平成4年(1992)	1,436	53	242	100	66	36	100	173	289	178	13	42	30	6	108
平成5年(1993)	1,547	52	278	128	79	66	93	190	318	145	14	28	44	9	103
平成6年(1994)	1,594	62	289	116	90	47	105	191	324	156	27	25	46	5	111
平成7年(1995)	1,545	53	260	124	79	51	115	188	306	107	65	25	42	4	126
平成8年(1996)	1,553	56	211	103	72	56	130	208	309	107	87	31	47	8	128
平成9年(1997)	1,684	48	247	115	69	66	152	227	318	134	73	28	42	12	153
平成10年(1998)	1,805	63	284	129	72	73	139	257	311	151	75	32	54	7	158
平成11年(1999)	1,889	72	260	103	86	65	144	288	383	115	83	31	50	11	198
平成12年(2000)	1,902	71	262	123	64	60	181	273	340	141	80	30	65	13	199
平成13年(2001)	2,070	121	261	140	103	59	170	309	352	162	83	44	61	11	194
平成14年(2002)	2,219	120	274	152	114	63	213	335	347	149	112	47	66	11	216
平成15年(2003)	2,297	124	276	161	118	61	207	326	327	160	149	51	78	8	251
平成16年(2004)	2,399	138	307	161	115	65	224	316	334	185	149	57	56	7	285
平成17年(2005)	2,648	163	331	173	169	81	237	347	379	196	144	46	65	11	306
平成18年(2006)	2,776	166	367	190	171	68	194	365	430	205	178	67	64	15	296
平成19年(2007)	2,841	178	359	177	181	75	220	359	424	175	205	66	45	20	357
平成20年(2008)	2,679	151	360	167	158	55	177	306	430	200	197	55	38	14	371
平成21年(2009)	2,971	167	320	166	161	85	265	400	439	263	232	56	36	22	359
平成22年(2010)	3,041	180	350	191	167	98	227	416	460	245	226	54	33	12	382
平成23年(2011)	3,040	182	329	175	156	77	263	412	498	208	226	59	38	15	402
平成24年(2012)	3,076	215	356	179	184	63	269	366	515	232	192	50	28	9	418
平成25年(2013)	3,082	187	333	184	158	65	296	389	536	221	193	65	30	15	410
平成26年(2014)	3,025	203	284	183	160	70	280	462	523	204	179	55	10	7	405
平成27年(2015)	3,111	169	337	187	186	66	286	483	495	172	216	50	2	5	457
平成28年(2016)	3,447	212	379	211	153	61	332	534	569	181	235	51	66	11	452
平成29年(2017)	3,617	246	363	212	188	69	308	546	578	188	238	58	89	13	521
平成30年(2018)	3,659	241	337	248	189	85	316	566	550	218	234	60	88	16	511
令和元年(2019)	3,666	251	338	228	189	91	351	590	556	149	236	53	86	20	528
令和2年(2020)	3,390	219	256	226	176	91	293	516	531	148	242	49	79	15	549
令和3年(2021)	3,876	254	333	257	198	86	372	579	560	188	266	49	81	12	641
令和4年(2022)	3,443	249	305	267	171	74	330	442	558	160	258	53	63	17	496
令和5年(2023)	3,866	248	298	308	204	70	361	471	538	207	314	62	97	29	659
合 計	124,066	6,044	19,611	6,993	6,307	2,928	9,941	15,448	20,714	11,340	5,598	2,112	2,577	721	13,732

年次別・部位別がん患者割合(%) (男女計) 1964－2023 ※平成8年までは、ICD9による集計

がんの部位 区分 (ICD10)	全部位 (C00～ D09)	食道 がん (C15)	胃がん (C16)	結腸 がん (C18)	直腸 がん (C19～C21)	肝臓 がん (C22)	頭頸部 のがん (C00～C14 C30～C32)	肺がん (C33,C34)	乳房 がん (C50)	子宮 がん (C53～C55 C58)	泌尿器 のがん (C60～C68)	甲状腺 がん (C73)	悪性 リンパ腫 (C82,C84, C85,C96)	白血病 (C91～C95)	その他の がん
昭和39年 (1964)	100.0	3.1	27.6	0.0	3.1	0.0	16.9	7.7	15.4	15.4	3.1	0.0	0.0	0.0	7.7
昭和40年 (1965)	100.0	3.0	35.3	1.4	4.0	1.1	7.6	6.9	11.6	17.1	1.3	0.9	1.0	1.3	7.5
昭和41年 (1966)	100.0	3.2	34.2	1.7	4.2	1.2	9.0	6.3	12.9	16.0	1.2	1.2	1.4	1.1	6.4
昭和42年 (1967)	100.0	2.6	34.4	2.1	4.1	1.6	8.9	7.5	10.2	17.2	1.6	0.9	1.4	0.8	6.7
昭和43年 (1968)	100.0	2.4	30.2	1.7	3.3	1.5	8.5	7.8	12.9	19.6	1.5	1.4	1.5	1.3	6.4
昭和44年 (1969)	100.0	2.7	31.1	1.3	4.3	1.3	8.3	7.6	12.9	18.3	1.2	1.4	1.7	0.6	7.3
昭和45年 (1970)	100.0	3.1	27.9	2.3	4.0	1.7	7.9	7.9	14.2	18.3	1.3	1.3	1.3	1.5	7.3
昭和46年 (1971)	100.0	2.7	26.7	2.0	3.6	2.3	9.1	7.6	13.9	18.5	1.3	1.8	1.6	0.7	8.2
昭和47年 (1972)	100.0	2.8	25.8	2.4	4.2	1.8	9.3	9.2	14.6	18.0	1.2	1.1	1.7	1.0	6.9
昭和48年 (1973)	100.0	2.7	26.1	2.1	4.9	1.9	7.8	8.8	12.7	18.9	0.8	1.7	2.1	0.9	8.6
昭和49年 (1974)	100.0	4.0	25.4	2.6	4.5	0.7	8.3	8.9	16.5	16.3	1.0	1.8	2.1	0.7	7.2
昭和50年 (1975)	100.0	2.7	26.3	2.9	4.6	0.9	7.0	9.3	15.0	17.0	0.6	2.0	2.5	1.3	7.9
昭和51年 (1976)	100.0	2.9	26.6	2.4	6.9	1.9	5.0	8.9	15.4	17.7	0.9	1.4	2.7	0.2	7.1
昭和52年 (1977)	100.0	2.9	25.4	3.8	6.6	1.1	4.8	8.6	15.6	16.7	0.6	1.6	1.9	1.2	9.2
昭和53年 (1978)	100.0	3.8	24.8	3.1	5.4	1.1	5.0	9.6	16.6	15.2	1.1	1.7	1.6	0.6	10.4
昭和54年 (1979)	100.0	2.7	24.8	3.9	3.6	2.0	6.1	9.6	17.8	14.4	0.9	1.8	2.8	0.7	8.9
昭和55年 (1980)	100.0	3.5	24.2	4.0	5.2	1.7	4.9	9.8	21.0	11.9	1.1	1.9	2.2	1.0	7.6
昭和56年 (1981)	100.0	3.1	23.9	3.5	5.3	2.3	3.7	10.5	22.2	11.8	1.2	1.6	2.3	0.8	7.8
昭和57年 (1982)	100.0	2.6	22.0	3.7	5.2	2.0	5.1	11.4	23.6	12.7	0.7	1.1	2.2	1.0	6.7
昭和58年 (1983)	100.0	3.5	21.2	5.5	6.1	1.8	5.1	11.0	21.2	11.4	0.8	1.3	2.7	0.9	7.5
昭和59年 (1984)	100.0	3.0	22.4	5.4	5.0	2.0	4.7	10.2	24.2	9.8	0.5	1.1	2.3	1.2	8.2
昭和60年 (1985)	100.0	2.4	20.0	5.2	5.1	2.5	5.8	10.5	24.5	9.4	1.0	1.3	3.5	0.2	8.6
昭和61年 (1986)	100.0	2.7	22.4	4.2	5.2	3.0	4.7	9.4	23.4	10.6	0.6	1.5	3.8	0.4	8.1
昭和62年 (1987)	100.0	2.4	19.5	5.4	5.3	2.5	5.3	11.3	23.9	9.9	1.1	1.4	2.7	0.8	8.5
昭和63年 (1988)	100.0	2.7	19.4	7.6	4.2	2.1	5.9	11.4	24.1	10.2	0.4	1.4	2.7	0.8	7.1
平成元年 (1989)	100.0	2.6	21.5	5.3	4.3	2.5	6.7	12.2	21.3	11.0	0.5	2.2	2.6	0.8	6.5
平成2年 (1990)	100.0	3.0	19.1	6.5	5.7	3.5	7.4	9.9	18.8	11.7	0.7	2.4	3.0	0.5	7.8
平成3年 (1991)	100.0	3.0	17.3	7.7	5.6	3.1	5.2	10.8	21.8	12.9	0.5	1.7	2.8	0.8	6.8
平成4年 (1992)	100.0	3.7	16.9	7.0	4.6	2.5	7.0	12.0	20.1	12.4	0.9	2.9	2.1	0.4	7.5
平成5年 (1993)	100.0	3.4	18.0	8.3	5.1	4.3	6.0	12.3	20.5	9.3	0.9	1.8	2.8	0.6	6.7
平成6年 (1994)	100.0	3.9	18.1	7.3	5.6	2.9	6.6	12.0	20.3	9.8	1.7	1.6	2.9	0.3	7.0
平成7年 (1995)	100.0	3.4	16.8	8.0	5.1	3.3	7.4	12.2	19.9	6.9	4.2	1.6	2.7	0.3	8.2
平成8年 (1996)	100.0	3.6	13.6	6.6	4.6	3.6	8.4	13.4	19.9	6.9	5.6	2.0	3.0	0.5	8.3
平成9年 (1997)	100.0	2.9	14.7	6.8	4.1	3.9	9.0	13.5	18.8	8.0	4.3	1.7	2.5	0.7	9.1
平成10年 (1998)	100.0	3.5	15.7	7.1	4.0	4.0	7.7	14.2	17.2	8.4	4.2	1.8	3.0	0.4	8.8
平成11年 (1999)	100.0	3.8	13.8	5.5	4.6	3.4	7.6	15.2	20.3	6.1	4.4	1.6	2.6	0.6	10.5
平成12年 (2000)	100.0	3.7	13.7	6.5	3.4	3.2	9.5	14.4	17.8	7.4	4.2	1.6	3.4	0.7	10.5
平成13年 (2001)	100.0	5.8	12.6	6.8	5.0	2.9	8.2	15.0	17.1	7.8	4.0	2.1	2.9	0.5	9.3
平成14年 (2002)	100.0	5.4	12.4	6.9	5.1	2.8	9.6	15.1	15.7	6.7	5.0	2.1	3.0	0.5	9.7
平成15年 (2003)	100.0	5.4	12.0	7.0	5.1	2.7	9.1	14.2	14.3	7.0	6.4	2.2	3.4	0.3	10.9
平成16年 (2004)	100.0	5.8	12.8	6.7	4.8	2.7	9.3	13.2	13.9	7.7	6.2	2.4	2.3	0.3	11.9
平成17年 (2005)	100.0	6.2	12.5	6.5	6.4	3.1	9.0	13.1	14.3	7.4	5.4	1.7	2.5	0.4	11.5
平成18年 (2006)	100.0	6.0	13.2	6.8	6.2	2.4	7.0	13.2	15.5	7.4	6.4	2.4	2.3	0.5	10.7
平成19年 (2007)	100.0	6.3	12.7	6.2	6.4	2.6	7.7	12.6	14.9	6.2	7.2	2.3	1.6	0.7	12.6
平成20年 (2008)	100.0	5.6	13.4	6.2	5.9	2.1	6.6	11.4	16.1	7.5	7.4	2.1	1.4	0.5	13.8
平成21年 (2009)	100.0	5.6	10.8	5.6	5.4	2.9	8.9	13.5	14.8	8.9	7.8	1.9	1.2	0.7	12.0
平成22年 (2010)	100.0	5.9	11.5	6.3	5.5	3.2	7.5	13.6	15.1	8.1	7.4	1.8	1.1	0.4	12.6
平成23年 (2011)	100.0	6.0	10.8	5.8	5.1	2.5	8.7	13.6	16.4	6.8	7.4	1.9	1.3	0.5	13.2
平成24年 (2012)	100.0	7.0	11.6	5.8	6.0	2.0	8.8	11.9	16.7	7.6	6.2	1.6	0.9	0.3	13.6
平成25年 (2013)	100.0	6.1	10.8	6.0	5.2	2.1	9.6	12.6	17.3	7.2	6.3	2.1	0.9	0.5	13.3
平成26年 (2014)	100.0	6.7	9.4	6.0	5.3	2.3	9.3	15.3	17.3	6.8	5.9	1.8	0.3	0.2	13.4
平成27年 (2015)	100.0	5.4	10.8	6.0	6.0	2.1	9.2	15.5	16.0	5.5	6.9	1.6	0.1	0.2	14.7
平成28年 (2016)	100.0	6.2	11.0	6.1	4.4	1.8	9.6	15.5	16.5	5.3	6.8	1.5	1.9	0.3	13.1
平成29年 (2017)	100.0	6.8	10.0	5.9	5.2	1.9	8.5	15.1	15.9	5.2	6.6	1.6	2.5	0.4	14.4
平成30年 (2018)	100.0	6.6	9.2	6.8	5.2	2.3	8.6	15.5	15.0	6.0	6.4	1.6	2.4	0.4	14.0
令和元年 (2019)	100.0	6.8	9.2	6.2	5.2	2.5	9.6	16.1	15.2	4.1	6.4	1.4	2.3	0.5	14.5
令和2年 (2020)	100.0	6.5	7.6	6.7	5.2	2.7	8.6	15.2	15.7	4.4	7.1	1.4	2.3	0.4	16.2
令和3年 (2021)	100.0	6.6	8.6	6.6	5.1	2.2	9.6	14.9	14.4	4.9	6.9	1.3	2.1	0.3	16.5
令和4年 (2022)	100.0	7.2	8.9	7.8	5.0	2.1	9.6	12.8	16.3	4.6	7.5	1.5	1.8	0.5	14.4
令和5年 (2023)	100.0	6.4	7.7	8.0	5.3	1.8	9.3	12.2	13.9	5.4	8.1	1.6	2.5	0.8	17.0
合 計	100.0	4.9	15.8	5.6	5.1	2.4	8.0	12.4	16.7	9.1	4.5	1.7	2.1	0.6	11.1

登録（診断）年次別がん患者の生存数（男女計）1964－2022

※2025年3月1日時点で把握している情報をもとに作成しています。

2013年以降のものにつきましては、現在も調査中です。あらかじめご了承ください。

登録（診断）年	症例数	経 過 年 数					
		1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年（1964）	65	38	33	31	26	23	15
昭和40年（1965）	1,437	800	637	572	541	508	414
昭和41年（1966）	1,606	963	764	673	640	613	507
昭和42年（1967）	1,525	914	708	619	576	551	444
昭和43年（1968）	1,485	939	746	661	617	582	472
昭和44年（1969）	1,572	981	789	698	631	594	503
昭和45年（1970）	1,566	1,016	802	723	670	628	535
昭和46年（1971）	1,639	1,049	850	768	701	642	536
昭和47年（1972）	1,659	1,103	907	820	753	713	593
昭和48年（1973）	1,494	1,007	841	745	704	664	558
昭和49年（1974）	1,366	948	771	686	640	599	500
昭和50年（1975）	1,427	963	776	704	659	634	553
昭和51年（1976）	1,330	926	759	677	640	605	506
昭和52年（1977）	1,286	906	736	677	630	599	521
昭和53年（1978）	1,400	985	816	746	692	655	553
昭和54年（1979）	1,370	994	828	754	706	674	580
昭和55年（1980）	1,386	1,011	846	779	724	688	589
昭和56年（1981）	1,371	1,021	861	779	741	696	588
昭和57年（1982）	1,353	999	858	774	736	707	572
昭和58年（1983）	1,420	1,058	890	806	741	707	600
昭和59年（1984）	1,378	1,046	883	802	753	721	614
昭和60年（1985）	1,515	1,198	1,024	923	858	828	711
昭和61年（1986）	1,440	1,124	974	883	835	795	667
昭和62年（1987）	1,424	1,127	969	881	805	767	650
昭和63年（1988）	1,456	1,163	1,013	924	876	849	738
平成元年（1989）	1,287	1,008	883	819	784	757	642
平成2年（1990）	1,317	1,072	925	867	824	788	685
平成3年（1991）	1,298	1,080	943	873	826	786	685
平成4年（1992）	1,436	1,169	1,009	935	893	858	735
平成5年（1993）	1,547	1,253	1,086	985	938	899	764
平成6年（1994）	1,594	1,306	1,161	1,074	1,006	967	829
平成7年（1995）	1,545	1,259	1,095	992	932	901	760
平成8年（1996）	1,553	1,283	1,123	1,010	967	913	778
平成9年（1997）	1,684	1,407	1,212	1,101	1,037	994	845
平成10年（1998）	1,805	1,467	1,286	1,175	1,108	1,053	889
平成11年（1999）	1,889	1,538	1,325	1,220	1,149	1,103	943
平成12年（2000）	1,902	1,577	1,369	1,266	1,187	1,121	951
平成13年（2001）	2,070	1,677	1,486	1,366	1,273	1,208	1,003
平成14年（2002）	2,219	1,824	1,577	1,414	1,319	1,257	1,056
平成15年（2003）	2,297	1,909	1,665	1,537	1,437	1,363	1,157
平成16年（2004）	2,399	2,029	1,738	1,590	1,506	1,435	1,237
平成17年（2005）	2,648	2,245	1,954	1,784	1,681	1,620	1,393
平成18年（2006）	2,776	2,372	2,094	1,949	1,843	1,783	1,542
平成19年（2007）	2,841	2,425	2,164	2,013	1,909	1,828	1,578
平成20年（2008）	2,679	2,342	2,127	1,981	1,856	1,773	1,546
平成21年（2009）	2,971	2,534	2,250	2,076	1,971	1,889	1,637
平成22年（2010）	3,041	2,621	2,310	2,124	2,003	1,932	1,662
平成23年（2011）	3,040	2,630	2,330	2,168	2,062	1,958	1,684
平成24年（2012）	3,076	2,662	2,355	2,166	2,043	1,970	1,747
平成25年（2013）	3,082	2,617	2,316	2,159	2,060	1,986	1,847
平成26年（2014）	3,025	2,601	2,317	2,156	2,053	1,972	1,792
平成27年（2015）	3,111	2,653	2,357	2,195	2,071	1,986	
平成28年（2016）	3,447	2,994	2,728	2,583	2,485	2,437	
平成29年（2017）	3,617	3,239	3,002	2,870	2,764	2,679	
平成30年（2018）	3,659	3,314	3,075	2,935	2,863	2,806	
令和元年（2019）	3,666	3,321	3,072	2,921	2,834	2,774	
令和2年（2020）	3,390	3,031	2,825	2,685	2,619		
令和3年（2021）	3,876	3,451	3,228	3,090			
令和4年（2022）	3,443	3,098	2,907				

登録（診断）年次別がん患者の実測生存率（％）（男女計）1964－2022

※2025年3月1日時点で把握している情報をもとに作成しています。

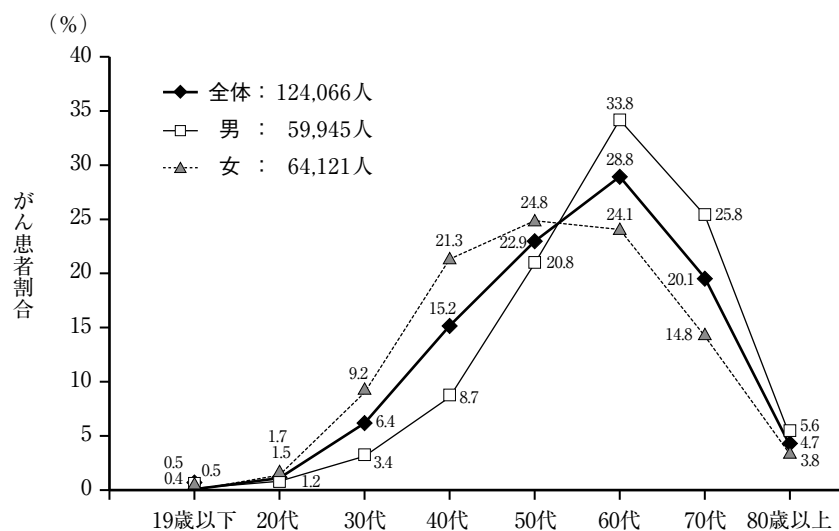
2013年以降のものにつきましては、現在も調査中です。あらかじめご了承ください。

登録（診断）年	経 過 年 数					
	1年経過	2年経過	3年経過	4年経過	5年経過	10年経過
昭和39年（1964）	58.5	50.8	47.7	40.0	35.4	23.1
昭和40年（1965）	55.7	44.3	39.8	37.6	35.4	28.8
昭和41年（1966）	60.0	47.6	41.9	39.9	38.2	31.6
昭和42年（1967）	59.9	46.4	40.6	37.8	36.1	29.1
昭和43年（1968）	63.2	50.2	44.5	41.5	39.2	31.8
昭和44年（1969）	62.4	50.2	44.4	40.1	37.8	32.0
昭和45年（1970）	64.9	51.2	46.2	42.8	40.1	34.2
昭和46年（1971）	64.0	51.9	46.9	42.8	39.2	32.7
昭和47年（1972）	66.5	54.7	49.4	45.4	43.0	35.7
昭和48年（1973）	67.4	56.3	49.9	47.1	44.4	37.3
昭和49年（1974）	69.4	56.4	50.2	46.9	43.9	36.6
昭和50年（1975）	67.5	54.4	49.3	46.2	44.4	38.8
昭和51年（1976）	69.6	57.1	50.9	48.1	45.5	38.0
昭和52年（1977）	70.5	57.2	52.6	49.0	46.6	40.5
昭和53年（1978）	70.4	58.3	53.3	49.4	46.8	39.5
昭和54年（1979）	72.6	60.4	55.0	51.5	49.2	42.3
昭和55年（1980）	72.9	61.0	56.2	52.2	49.6	42.5
昭和56年（1981）	74.5	62.8	56.8	54.0	50.8	42.9
昭和57年（1982）	73.8	63.4	57.2	54.4	52.3	42.3
昭和58年（1983）	74.5	62.7	56.8	52.2	49.8	42.3
昭和59年（1984）	75.9	64.1	58.2	54.6	52.3	44.6
昭和60年（1985）	79.1	67.6	60.9	56.6	54.7	46.9
昭和61年（1986）	78.1	67.6	61.3	58.0	55.2	46.3
昭和62年（1987）	79.1	68.0	61.9	56.5	53.9	45.6
昭和63年（1988）	79.9	69.6	63.5	60.2	58.3	50.7
平成元年（1989）	78.3	68.6	63.6	60.9	58.8	49.9
平成2年（1990）	81.4	70.2	65.8	62.6	59.8	52.0
平成3年（1991）	83.2	72.7	67.3	63.6	60.6	52.8
平成4年（1992）	81.4	70.3	65.1	62.2	59.7	51.2
平成5年（1993）	81.0	70.2	63.7	60.6	58.1	49.4
平成6年（1994）	81.9	72.8	67.4	63.1	60.7	52.0
平成7年（1995）	81.5	70.9	64.2	60.3	58.3	49.2
平成8年（1996）	82.6	72.3	65.0	62.3	58.8	50.1
平成9年（1997）	83.6	72.0	65.4	61.6	59.0	50.2
平成10年（1998）	81.3	71.2	65.1	61.4	58.3	49.3
平成11年（1999）	81.4	70.1	64.6	60.8	58.4	49.9
平成12年（2000）	82.9	72.0	66.6	62.4	58.9	50.0
平成13年（2001）	81.0	71.8	66.0	61.5	58.4	48.5
平成14年（2002）	82.2	71.1	63.7	59.4	56.6	47.6
平成15年（2003）	83.1	72.5	66.9	62.6	59.3	50.4
平成16年（2004）	84.6	72.4	66.3	62.8	59.8	51.6
平成17年（2005）	84.8	73.8	67.4	63.5	61.2	52.6
平成18年（2006）	85.4	75.4	70.2	66.4	64.2	55.5
平成19年（2007）	85.4	76.2	70.9	67.2	64.3	55.5
平成20年（2008）	87.4	79.4	73.9	69.3	66.2	57.7
平成21年（2009）	85.3	75.7	69.9	66.3	63.6	55.1
平成22年（2010）	86.2	76.0	69.8	65.9	63.5	54.7
平成23年（2011）	86.5	76.6	71.3	67.8	64.4	55.4
平成24年（2012）	86.5	76.6	70.4	66.4	64.0	56.8
平成25年（2013）	84.9	75.1	70.1	66.8	64.4	59.9
平成26年（2014）	86.0	76.6	71.3	67.9	65.2	59.2
平成27年（2015）	85.3	75.8	70.6	66.6	63.8	
平成28年（2016）	86.9	79.1	74.9	72.1	70.7	
平成29年（2017）	89.5	83.0	79.3	76.4	74.1	
平成30年（2018）	90.6	84.0	80.2	78.2	76.7	
令和元年（2019）	90.6	83.8	79.7	77.3	75.7	
令和2年（2020）	89.4	83.3	79.2	77.3		
令和3年（2021）	89.0	83.3	79.7			
令和4年（2022）	90.0	84.4				

①がん患者 年齢構成図

(昭和39年1月～令和5年12月)

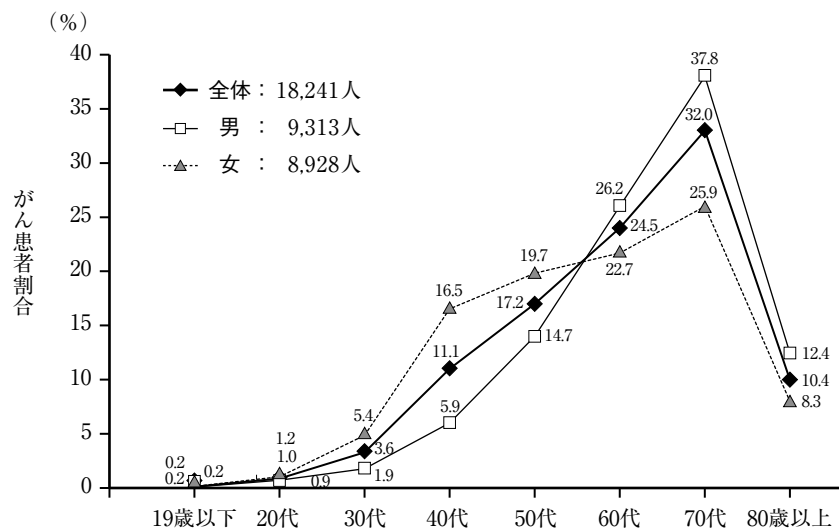
		19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合 計
男	患者数	316	710	2,049	5,228	12,497	20,291	15,480	3,374	59,945
	%	0.5%	1.2%	3.4%	8.7%	20.8%	33.8%	25.8%	5.6%	100.0%
女	患者数	243	1,108	5,872	13,634	15,890	15,473	9,463	2,438	64,121
	%	0.4%	1.7%	9.2%	21.3%	24.8%	24.1%	14.8%	3.8%	100.0%
計	患者数	559	1,818	7,921	18,862	28,387	35,764	24,943	5,812	124,066
	%	0.5%	1.5%	6.4%	15.2%	22.9%	28.8%	20.1%	4.7%	100.0%



②がん患者 年齢構成図

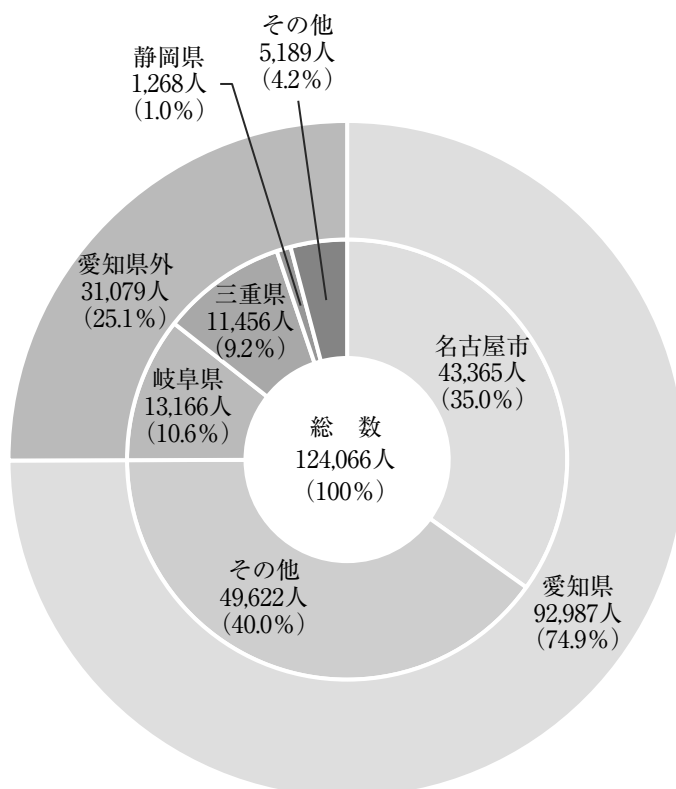
(令和元年1月～令和5年12月)

		19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合 計
男	患者数	14	82	179	548	1,368	2,442	3,523	1,157	9,313
	%	0.2%	0.9%	1.9%	5.9%	14.7%	26.2%	37.8%	12.4%	100.0%
女	患者数	16	107	479	1,472	1,763	2,031	2,315	745	8,928
	%	0.2%	1.2%	5.4%	16.5%	19.7%	22.7%	25.9%	8.3%	100.0%
計	患者数	30	189	658	2,020	3,131	4,473	5,838	1,902	18,241
	%	0.2%	1.0%	3.6%	11.1%	17.2%	24.5%	32.0%	10.4%	100.0%



①がん患者 県別分布数

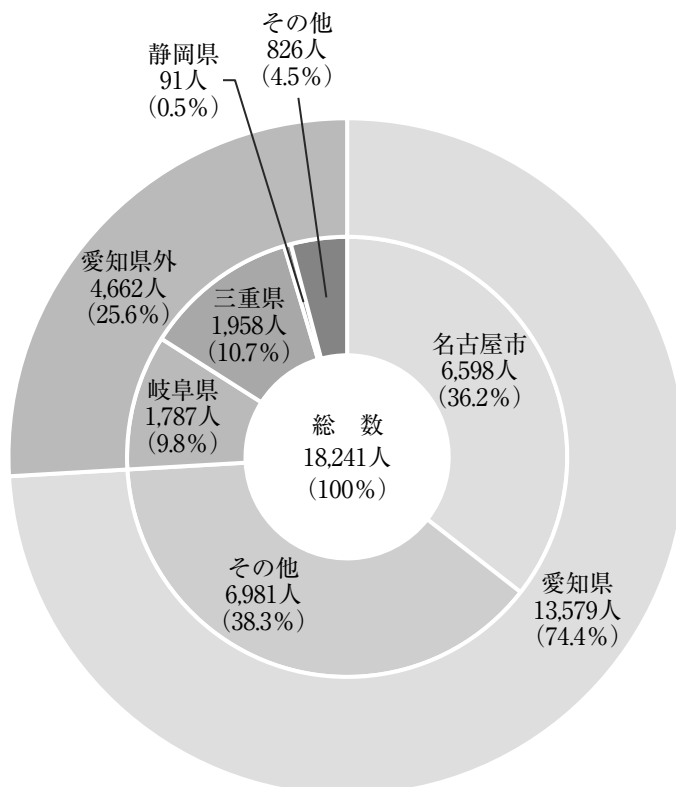
(昭和39年1月～令和5年12月)



※小数点第二位を四捨五入

②がん患者 県別分布数

(令和元年1月～令和5年12月)



※小数点第二位を四捨五入

レジデント履修状況

区 分	総 数	消化器 内科コース	呼吸器 内科コース	腫瘍内科・ 血液内科 コース	頭頸部 外科コース	呼吸器外科・ 乳腺科コース	消化器 外科コース	泌尿器・婦人科・ 整形外科・ 形成外科コース	放射線 診断コース	放射線 治療コース	遺伝子 病理診断 コース	麻酔科 コース	感染症 内科コース
昭和61年度～ 令和3年度	1,417	144	75	111	129	211	194	73	114	317	44	4	1
令和4年度	43	5	1	8	5	7	7	4	3	2	0	0	1
令和5年度	40	4	0	4	5	6	7	5	3	2	1	1	2
令和6年度	39	5	0	3	6	7	7	5	3	2	0	1	0
総 数	1,539	158	76	126	145	231	215	87	123	323	45	6	4

(注) 呼吸器外科・乳腺科コースは、平成22年度までは胸部外科・乳腺科コース

リサーチレジデント履修状況

区 分	総 数	がん情報・ 対策研究 コース	がん予防 研究 コース	分子遺伝学 コース	がん病態 生理学 コース	分子腫瘍学 コース	システム 解析学 コース	腫瘍制御学 コース	腫瘍免疫 応答研究 コース	腫瘍免疫 制御TR コース	分子診断 TRコース	がん標的 治療TR コース	個別化 医療TR コース	臨床研究 基礎コース
平成13年度～ 令和3年度	198	20	26	0	22	29	1	21	21	31	2	18	0	7
令和4年度	11	1	1	0	0	2	1	0	2	2	1	1	0	-
令和5年度	12	1	2	0	0	1	2	0	0	2	2	2	0	-
令和6年度	13	1	2	0	1	1	2	1	0	2	2	1	0	-
総 数	234	23	31	0	23	33	6	22	23	37	7	22	0	7

(注) がん情報・対策研究コースは、平成29年度までは疫学・予防学コース
 がん予防研究コースは、平成29年度までは遺伝子医療研究コース
 がん病態生理学コースは、平成29年度までは分子病態学コース
 腫瘍制御学コースは、平成29年度までは感染腫瘍学コース
 腫瘍免疫応答研究コースは、平成29年度までは腫瘍免疫学コース
 腫瘍免疫制御TRコースは、平成29年度までは腫瘍医化学コース
 がん標的治療TRコースは、平成29年度までは腫瘍病理学コース

医療技術者研修受入れ状況

区 分	総 数	昭和41年度～ 平成31年度	平成32年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総 数	6,204	5,773	83	70	97	89	92
医 師	3,897	3,632	39	42	55	63	66
診 療 放 射 線 技 師	254	228	7	4	7	4	4
臨 床 (衛 生) 検 査 技 師	622	614	2	1	1	1	3
看 護 師	327	318	3	1	3	1	1
そ の 他	1,104	981	32	22	31	20	18

図書蔵書状況

年度		計	単 行 本		製 本 雑 誌	
			洋	和	洋	和
受 入 数	昭和40年度～令和3年度	77,835	12,196	23,908	28,425	13,306
	令和4年度	731	6	521	0	204
	令和5年度	501	29	365	0	107
	令和6年度	671	20	616	0	35
除 籍 累 計		23,771	4,150	7,939	9,854	1,828
総 数		55,967	8,101	17,471	18,571	11,824

主な備品・設備

備 品 (令和7年4月1日現在) (3,000万円以上)

品 名	取得年度	型 式	数量	設置場所
FPD搭載Cアーム型デジタルX線テレビシステム	平成24年度	Ultimax-i 東芝	1	内視鏡部
上部消化管内視鏡手術総合システム	平成25年度	EVIS LUCERA ELITE オリンパス	1	内視鏡部
心電図自動解析装置	平成3年度	FCP-800 フクダ電子	1	血液・細胞療法部
全自動血液検査システム	平成27年度	XN-3000+DI-60 シスメックス	1	臨床検査部
診断用X線装置	※ 昭和61年度	KXO850 東芝	1	放射線診断・IVR部
Cアーム型X線テレビシステム	平成21年度	ULTIMAX-I	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線撮影装置	平成22年度	FUJIFILM DR BENE0 富士	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線透視診断装置	平成22年度	CUREVISTA 日立メディコ	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	平成24年度	Aquilion PRIME 東芝	1	放射線診断・IVR部
2検出器可変型ガンマカメラシステム	平成24年度	Infinia 3 Hawkeye 4 GE	1	放射線診断・IVR部
乳房X線撮影装置	平成25年度	AMULET Innovality 富士	1	放射線診断・IVR部
IVR-CT	平成27年度	Infinix Celeve-I INFX-8000C・Aquilion PRIME 東芝	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	平成29年度	Aquilion PRIME キヤノンメディカルシステムズ	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線透視診断装置	平成29年度	EXAVISTA 日立製作所	1	放射線診断・IVR部
磁気共鳴断層撮影装置	平成30年度	SIGNA Architect3.0T GE	1	放射線診断・IVR部
据置型デジタル式汎用X線診断装置	令和元年度	BENE0-Fx・CALNEO Smart C77 富士フィルム	1	放射線診断・IVR部
全身用X線CT診断装置	令和2年度	Aquilion ONE PRISM Edition キヤノンメディカルシステムズ	1	放射線診断・IVR部
IVR-CT	令和3年度	AquilionONE/Alphenix キヤノンメディカルシステムズ	1	放射線診断・IVR部
一般X線撮影システム	令和3年度	Beneo Fx/CALNEO-SmartC77 富士フィルムメディカル	1	放射線診断・IVR部
乳腺バイオプシー専用システム	令和4年度	Affirm Prone Biopsy System ホロジックジャパン	1	放射線診断・IVR部
磁気共鳴断層撮影装置	令和5年度	SIGNA Architect3.0T GE	1	放射線診断・IVR部
放射線治療位置決め装置	平成19年度	LX-40A 東芝	1	放射線治療部
全身用エックス線コンピュータ断層撮影装置	平成26年度	Aquilion LB・TSX-201A 東芝	1	放射線治療部
遠隔操作式腔内治療装置	平成26年度	マイクロセレクトロンHDRシステム ニュークレトロン	1	放射線治療部
医療用リニアック	平成28年度	Truebeam バリアン	1	放射線治療部
放射線治療情報システム	令和元年度	MOSAIQ OIS エレクタ	1	放射線治療部
医療用リニアック	令和元年度	Radixact X9 Accuray	1	放射線治療部
医療用リニアック	令和6年度	OXRAY 日立ハイテック	1	放射線治療部
集中患者監視システム	平成3年度	CBN-3000CN特型 コーリン電子	1	手術室
手術室内ITVシステム	※ 平成3年度	特型 ソニー	1	手術室
手術用顕微鏡	平成25年度	OPMI PENTERO 900 カールツァイスメディテック	1	手術室
ロボット支援手術用システム	平成27年度	da vinci xi インテュイティブサージカル	1	手術室
術中ナビゲーションシステム	平成29年度	StealthStationS7 日本メドトロニック	1	手術室
手術用顕微鏡システム	平成29年度	KINEVO900 カールツァイス	1	手術室
手術用顕微鏡	令和3年度	Arveo ライカマイクロシステムズ	1	手術室
ロボット支援手術用システム	令和6年度	da vinci xi インテュイティブサージカル	1	手術室
注射薬自動払出システム	令和2年度	UNIPUL-5000 トーショー	1	薬剤部
自動カート洗浄装置	※ 平成3年度	CWR-2500W サクラ精機	1	中材事務室
カルテ保管庫	※ 平成5年度	カルテ管理システム 日本ファイリング	1	診療録管理室
医用画像管理システム	令和4年度	SYNAPSE Ver.5.5.0 富士フィルムメディカル	1	サーバー室
動物飼育設備	平成11年度	ダイゲン	1	研究所
共焦点レーザー顕微鏡	平成18年度	LSM510MATE-ACC カールツァイス	1	研究所
放射線管理総合システム	平成21年度	MSR3000 アロカ	1	研究所
高速自動セルソーター	平成25年度	FACS AriaIII 日本ベクトンデッキンソン	1	研究所
次世代DNAシーケンサー	平成26年度	NextSeq500システム イルミナ	1	研究所
動物用コンピューター断層撮影装置	平成29年度	CosmoScanGXII リガク	1	研究所
中央実験台等	※ 平成11年度	イトーキ	1	研究所

(注) ※印の備品は、年金積立金還元融資を受けて購入

附属設備 (令和7年4月1日現在)

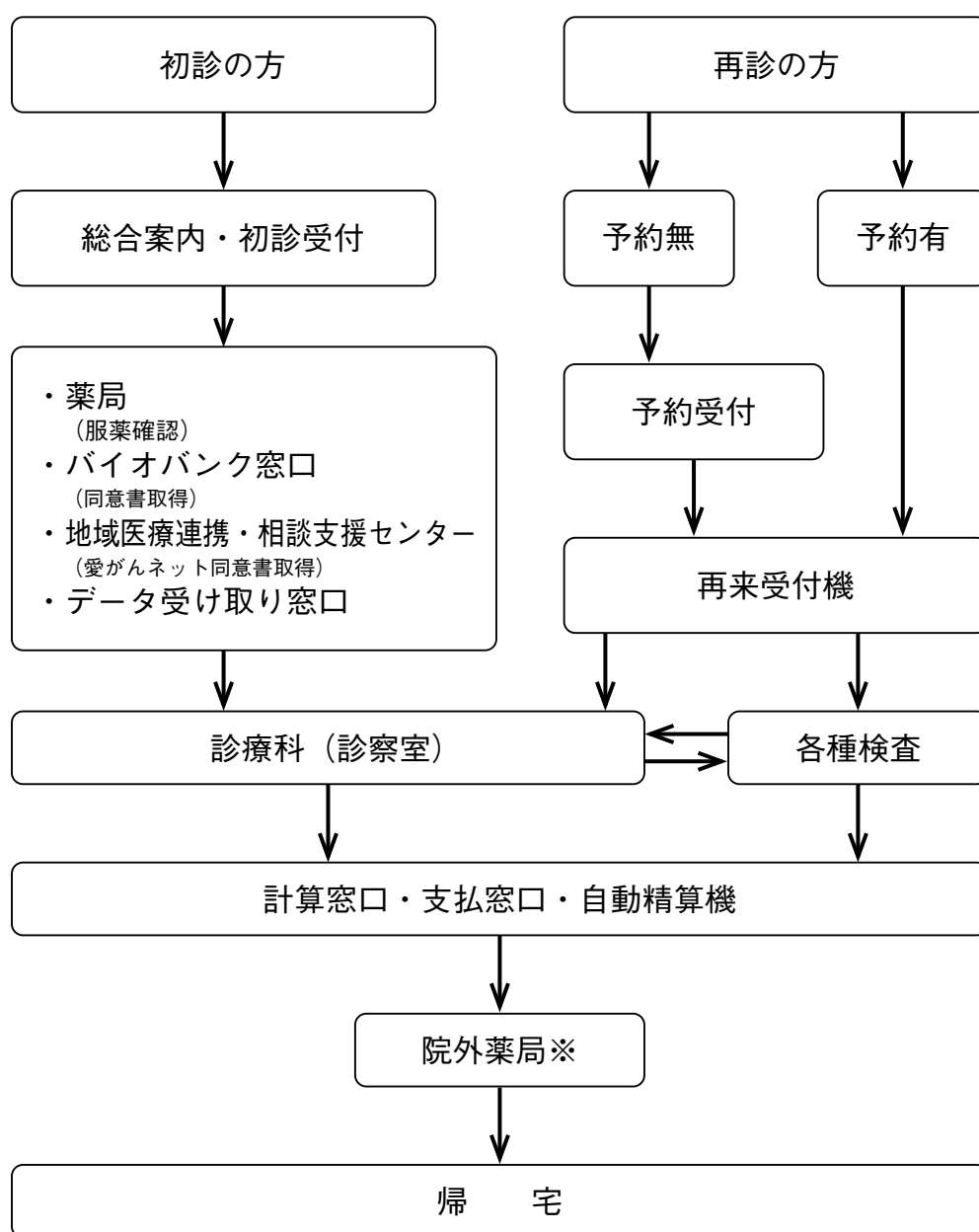
設備名	設備機械	数量	設備名	設備機械	数量	設備名	設備機械	数量
空気換気設備	冷 凍 機	4	電気設備	特 高 受 電 用 変 圧 器	2	医療ガス設備	液体酸素貯蔵タンク	1
	ヒ ー ト ポ ン プ チ ラ ー	1		高 圧 配 電 用 変 圧 器	54		真空ポンプ(吸引用)	4
	ボ イ ラ ー	2		非 常 用 発 電 機	3		液体窒素貯蔵タンク	1
	貫 流 ボ イ ラ ー	3		常用発電機(コージェネ)	1		純正空気用混合器	1
	冷 温 水 発 生 器	5		常用発電機(小水力)	1			
	空 調 機	109		電 話 交 換 機	1			
	送 排 風 機	322		昇 降 機	19			

病院業務 (令和7年4月1日現在)

診療科目 消化器内科、内視鏡内科、呼吸器内科、血液内科、薬物療法内科、臨床検査科、病理診断科、頭頸部外科、形成外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、婦人科、脳神経外科、麻酔科、放射線診断科、放射線治療科、眼科、皮膚科、循環器内科、感染症内科、歯科、緩和ケア内科、腫瘍精神科 計 27 診療科

病 床 数 500床

外来診療の流れ



※薬剤により院内薬局にて処方する場合がある。

外来患者状況

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
診 療 日 数	243	242	243	243	243
新 来 患 者 数	4,612	4,902	5,036	5,013	5,056
患 者 延 数	139,861	143,944	143,148	142,818	139,916
1 日 平 均 患 者 数	575.6	594.8	589.1	587.7	575.8
平 均 通 院 回 数	30.3	29.4	28.4	28.5	27.7
紹 介 患 者 比 率	99.0	99.1	99.2	99.1	99.6
外 来 化 学 療 法 件 数	28,626	29,018	27,939	27,859	27,023

入院患者状況

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
患 者 総 数	総 数	10,414	10,004	9,471	10,408	11,513
	繰 越	308	316	312	269	289
	新入院	10,106	9,688	9,159	10,139	11,224
退 院 患 者 数	総 数	10,098	9,692	9,202	10,119	11,171
	死 亡	285	251	231	253	323
	その他	9,813	9,441	8,971	9,866	10,848
患 者 延 数		124,913	118,174	109,389	121,854	131,488
1 日 平 均 患 者 数		342.2	323.8	299.7	332.9	360.2
平 均 在 院 日 数		11.4	11.2	10.9	11.0	10.7
稼 働 病 床 利 用 率		72.4	68.4	63.4	70.4	76.2
病 床 回 転 率		29.5	29.9	30.6	30.4	31.1
死 亡 率		2.8	2.6	2.5	2.5	2.9

住所地別患者数

区 分	住 所 地	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
外 来 新 来 患 者 数	愛 知 県	3,906	79.7%	4,015	79.7%	4,028	80.4%	4,113	81.3%
	名古屋市	2,155	44.0%	2,279	45.3%	2,281	45.5%	2,362	46.7%
	そ の 他	1,751	35.7%	1,735	34.5%	1,747	34.8%	1,751	34.6%
	県 外	996	20.3%	1,021	20.3%	985	19.6%	943	18.7%
	総 数	4,902	100.0%	5,036	100.0%	5,013	100.0%	5,056	100.0%
新 入 院 患 者 数	愛 知 県	7,262	75.0%	6,945	75.8%	7,737	76.3%	8,632	76.9%
	名古屋市	3,400	35.1%	3,421	37.4%	3,917	38.6%	4,405	39.2%
	そ の 他	3,862	39.9%	3,524	38.5%	3,820	37.7%	4,227	37.7%
	県 外	2,426	25.0%	2,214	24.2%	2,402	23.7%	2,592	23.1%
	総 数	9,688	100.0%	9,159	100.0%	10,139	100.0%	11,224	100.0%

患者給食実施状況

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
入 院 患 者 延 数		124,913	118,174	109,389	121,854	131,488
給 食 数 (配膳延食数)	総 数	252,118	244,050	222,887	249,814	267,539
	一 般 食	181,737	170,808	154,615	175,911	186,422
	特 別 食	70,381	73,242	68,272	73,903	81,117

放射線照射回数（診断－直接撮影件数）

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
総 数		49,517	50,267	49,502	48,925	49,703
単 純 撮 影		43,042	43,593	43,084	42,416	42,761
造 影 撮 影		5,079	4,990	4,693	4,558	4,900
特 殊 撮 影		1,396	1,684	1,725	1,951	2,042

アイソトープ検査件数

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
総 数		710	694	750	722	773
シ ン チ ス キ ャ ン		334	380	357	334	374
セ ン チ ネ ル リ ン パ		346	276	347	353	375
動 態 計 測		30	38	46	35	24

(注) センチネルリンパ節の検査は平成17年度より始めた。

コンピュータ断層撮影および MRI 検査人数

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
総 数		27,857	27,452	27,304	28,983	31,197
C	T	22,466	22,268	22,156	24,135	25,530
M	R I	5,391	5,184	5,148	4,848	5,667

超音波断層撮影件数

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
総 数		2,947	3,146	3,127	2,986	2,971
部 位 別	甲 状 腺	275	240	161	159	300
	乳 腺	742	813	907	870	842
	腹 部	1,604	1,567	1,544	1,461	1,311
	そ の 他	326	526	515	496	518

(注) 放射線診断部・I V R 部 超音波検査室における超音波検査件数。

放射線照射回数（治療）

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総 数		44,771	45,013	42,682	42,895	33,665
放 射 線 治 療 計 画 策 定 件 数		1,364	1,289	1,243	1,332	1,242
放射性物質	R A L S	88	64	74	81	66
	小 線 源	5	7	7	10	13
そ の 他	リ ニ ア ッ ク	42,084	42,441	40,158	40,188	31,015
	C T	1,228	1,212	1,200	1,284	1,329
	シミュレーター	2	0	0	0	0

一般臨床検査件数

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総 数		3,480,910	3,642,919	3,594,716	3,748,978	3,870,798
尿 検 査		31,049	30,189	30,879	31,708	31,425
糞 便 検 査		231	238	196	219	197
血 液 学 的 検 査		1,046,706	1,079,160	1,053,842	1,102,726	1,137,168
生 化 学 的 検 査		1,869,585	1,933,438	1,889,930	1,984,793	2,060,903
細 菌 学 的 検 査 （ 監 視 培 養 検 査 ）		26,200 (1,722)	28,031 (1,493)	26,790 (1,256)	27,428 (1,495)	28,436 (1,574)
血 清 学 的 検 査		266,098	276,377	298,457	299,739	307,099
病 理 組 織 検 査		9,144	9,401	9,603	9,356	9,518
癌 遺 伝 子 検 査		3,163	3,100	3,014	3,140	3,090
細 胞 学 的 検 査		5,707	5,449	5,533	5,401	5,350
血 液 ガ ス 検 査		2,568	2,766	3,408	3,686	4,073
その他	採 血 業 務	218,562	272,098	270,448	277,328	280,881
	治 験 処 理 等	1,897	2,672	2,616	3,454	2,658

（注）（ ）内は内数。

機能検査件数

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総 数	22,326	24,271	23,872	22,115	22,165
心 電 図 検 査	4,823	5,287	5,384	5,836	5,572
負 荷 心 電 図 検 査	2,249	2,216	2,261	2,174	2,392
ト レ ッ ド ミ ル 検 査	533	612	689	535	347
ホ ル タ ー 心 電 図 検 査	50	60	37	47	31
心 臓 超 音 波 検 査	3,384	3,406	3,311	3,229	3,268
肺 機 能 検 査	10,328	11,643	11,099	9,230	9,548
ピ ロ リ 菌 呼 気 試 験	83	82	54	63	46
聴 力 検 査	116	137	127	131	119
乳 腺 超 音 波 検 査	760	828	910	870	842

部門別検査件数（県立病院統一件数）

区 分	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数	総件数	院内件数	外注件数
総 数	3,620,958	3,570,441	50,517	3,804,385	3,753,397	50,988	3,927,344	3,879,742	47,602
一般検査	166,184	166,099	85	184,488	184,402	86	185,640	185,576	64
血液検査	722,145	721,369	776	757,832	756,817	1,015	783,499	782,486	1,013
免疫血清検査	192,983	180,793	12,190	210,539	200,480	10,059	221,514	210,656	10,858
生化学検査	2,072,450	2,037,350	35,100	2,170,896	2,133,400	37,496	2,255,634	2,221,915	33,719
微生物検査	57,140	54,828	2,312	61,098	58,829	2,269	62,240	60,338	1,902
病理細胞診検査	112,876	112,876	0	116,386	116,386	0	112,940	112,940	0
生理検査	23,872	23,818	54	22,115	22,052	63	22,165	22,119	46
その他の検査	273,308	273,308	0	281,031	281,031	0	283,712	283,712	0

（注）愛知県立病院での統一件数集計方式による。

内視鏡検査件数

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総 数	10,294	10,716	10,923	10,843	11,458
上 部 消 化 管	5,716	6,003	6,210	6,144	6,330
下 部 消 化 管	2,058	2,016	1,938	1,936	2,144
気 管 支	153	178	205	167	176
膵 胆 管 造 影 (ERCP)	588	627	571	512	612
超 音 波 内 視 鏡 (EUS)	1,054	1,100	1,136	1,211	1,300
超音波内視鏡下穿刺生検 (EUS-FNA)	432	507	491	522	562
そ の 他 検 査	293	285	372	351	334

内視鏡治療件数

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総 数	1,419	1,449	1,562	1,488	1,727
食 道 E M R	10	14	21	9	11
胃 E M R	0	0	0	0	0
大腸EMR、ポリペク	429	452	474	431	468
食 道 E S D	68	72	74	60	89
胃 E S D	82	89	122	85	92
大 腸 E S D	73	56	51	55	79
食 道 狭 窄 拡 張 術	94	119	139	149	220
胆道ステント留置術	521	500	507	558	611
乳頭切開術、胆道碎石術	142	147	174	141	157

手術件数

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総 数	3,287	3,203	3,235	3,384	3,443
頭 頸 部 外 科	453	405	479	511	520
呼 吸 器 外 科	422	391	344	369	407
乳 腺 科	459	452	440	469	449
消 化 器 外 科	854	865	863	858	857
婦 人 科	275	252	253	289	263
泌 尿 器 科	241(4)	236(8)	245(9)	257(11)	323(14)
整 形 外 科	347	325	349	355	361
形 成 外 科	128	145	153	153	148
そ の 他	108	132	109	123	115

※各年度、手術室で実施した手術件数で、外来手術は含まない。

泌尿器科の（ ）内は小線源治療数（外数）

主な部位別手術症例数・特殊治療件数

部 位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	部 位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
頭 頸 部 が ん	359	383	361	子 宮 頸 が ん (円錐切除)	30	51	25
食 道 が ん	90	91	92		49	55	37
肺 が ん	237	241	260	子 宮 体 が ん	40	64	65
乳 が ん	404	452	414	卵 巣 が ん	39	50	35
胃 が ん	147	144	145	前 立 腺 が ん	37	33	30
大 腸 が ん	409	409	388	悪 性 骨 軟 部 腫 瘍	81	81	69
肝 ・ 胆 が ん	74	92	90	I V R	1,485	1,379	1,706
膵 臓 が ん	81	75	96	造 血 幹 細 胞 移 植	1	5	8
				同 種 自 家	5	12	9

※がんの部位別手術症例数は、各診療科保有のデータによる。

薬剤業務状況

区 分			令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
処 方	枚 数	総 数	89,496	77,841	73,181	82,986	89,834
		外 来	10,256	2,436	2,682	5,573	6,100
		入 院	79,240	75,405	70,499	77,413	83,734
	剤 数	総 数	168,076	134,311	126,993	150,721	168,590
		外 来	36,620	9,186	10,673	23,073	25,892
		入 院	131,456	125,125	116,320	127,648	142,698
	延 剤 数	総 数	1,563,215	991,479	942,408	1,272,802	1,467,562
		外 来	685,346	171,976	181,421	410,631	484,612
		入 院	877,869	819,503	760,987	862,171	982,950
治 験 処 方 枚 数		総 数	1,052	1,295	1,642	1,542	1,338
		外 来	996	1,230	1,561	1,411	1,283
		入 院	56	65	81	131	55
注 射	枚 数 ^{*1}	総 数	104,216	143,653	135,544	144,427	153,950
		外 来	36,277	40,315	39,550	38,447	37,166
		入 院	67,939	103,338	95,994	105,980	116,784
	剤 数	総 数	460,872	527,468	507,816	549,102	579,874
		外 来	125,011	143,943	145,067	147,079	144,006
		入 院	335,861	383,525	362,749	402,023	435,868
外来患者指導 ^{*2}	常用薬調査	人 数	4,863	4,895	5,399	5,470	5,841
	窓口指導	件 数	280	219	241	204	211
外 来 抗 が ん 剤 調 製 数 ^{*3}		件数(患者数)	23,183	24,408	24,289	24,611	23,657
		剤 数	38,577	39,090	39,410	39,217	37,627
外 来 抗 が ん 剤 調 製 数 ^{*4} (治験)		件数(患者数)	1,778	1,890	1,894	1,848	1,381
		剤 数	2,423	2,669	2,606	2,616	2,299
入 院 抗 が ん 剤 調 製 数 ^{*5} (治験を含む)		件数(患者数)	7,315	7,302	7,520	8,871	9,757
		剤 数	11,040	10,266	9,517	11,646	13,499
麻 薬 処 方 せ ん 枚 数			7,432	5,142	4,649	5,705	6,026
麻 薬 注 射 せ ん 枚 数			20,384	16,714	15,654	21,006	14,958
T P N 調 製 件 数 ^{*6}			1,322	2,090	2,039	2,143	2,503
T D M 実 施 件 数			365	318	287	454	355

* 1 令和 3 年度分は、注射自動払出システム変更に伴いオーダー追加や変更も計上

* 2 外来患者指導関連は、調剤科窓口で薬剤師が実施した分のみを計上

* 3 外来抗がん剤調製数は、薬剤師が調製した分のみを計上

* 4 外来抗がん剤調製数（治験）は、薬剤師が調製した分のみを計上（*3 の外数）

* 5 入院抗がん剤調製数（治験を含む）は、薬剤師が調製した分のみを計上

* 6 TPN調製件数は、令和 2 年 5 月から実施した分を計上

臨床薬剤業務状況

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
薬 剤 管 理 指 導 数	人 数	7,884	7,293	7,319	9,236	11,072
	算定件数	9,939	9,014	9,001	11,634	14,342
退 院 時 薬 剤 情 報 管 理 指 導 件 数		1,602	1,465	2,029	3,100	3,726
病 棟 薬 剤 業 務 実 施 加 算 件 数 [*]		23,561	22,624	20,589	22,931	25,121
プ レ ア ボ イ ド 報 告 件 数		23	51	44	52	36

* 病棟薬剤業務実施加算件数は実施加算 1 及び 2 の総数を計上

院外処方せん交付状況

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
処方せん総枚数	61,034	62,696	62,634	62,900	61,375
院内処方せん枚数(外来)	10,256	2,436	2,682	5,573	6,100
院外処方せん枚数	50,778	60,260	59,952	57,327	55,275
比率 $\left(\frac{\text{院外処方せん枚数}}{\text{処方せん総枚数}}\right) \%$	83.2	96.1	95.7	91.1	90.1

血液使用状況

1. 血液使用量

(単位：単位)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
自 己 血 液	14	10	10	12	8
全 血 液	0	0	0	0	0
赤 血 球 液	4,558	4,340	4,254	5,338	5,208
他 の 赤 血 球 製 剤	0	0	0	0	0
凍 結 血 漿	1,600	1,196	1,108	1,058	1,046
血 小 板	7,495	7,895	7,205	11,300	12,995

(注) 全血製剤は血液200mlを1単位、成分製剤は血液200mlに由来する成分を1単位とする。

他の赤血球製剤：解凍赤血球、洗浄赤血球等

2. 検査件数

(単位：件)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ク ロ ス マ ッ チ	2,456	2,242	2,277	2,829	2,749
血 液 型 (A B O)	8,931	8,912	9,663	9,943	10,277
R H 因 子	8,931	8,912	9,663	9,943	10,277
間 接 ク ー ム ス 試 験	4,628	4,446	5,089	5,307	5,425
抗体スクリーニング	8,928	8,909	9,662	9,942	10,276
直 接 ク ー ム ス 試 験	49	24	35	17	24

治験等実施件数

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
治 験 (内 拡大治験)	208 (4)	211 (2)	213 (1)	228 (3)	236 (3)
製造販売後臨床試験	11	8	19	18	11
製販後使用成績調査	41	42	47	50	44
そ の 他	0	0	0	0	0
企 業 治 験 合 計 (新 規 依 頼 分)	260 (55)	261 (59)	279 (59)	296 (52)	291 (55)
医師主導治験合計 (新 規 依 頼 分)	23 (5)	25 (5)	24 (3)	22 (5)	19 (1)
企業治験+医師主導治験 (製販後臨床試験、成績調査除く)	231	236	237	250	255

臨床研究件数

(各年度末時点)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実施中の臨床研究数 (臨床研究法対象分)	105	109	118	120	147
実施中の臨床研究数 (人を対象とする生命科学・医学系 研究に関する倫理指針対象分)	771	720	714	690	665
合 計	876	829	832	810	812

死体解剖数

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
死 亡 患 者 数	285	251	231	253	323
解 剖 数	1	2	0	0	0
解 剖 率	0.4	0.8	0.0	0.0	0.0

がんゲノム外来件数

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件 数	371	396	409	363	441

エキスパートパネル件数

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
検 討 症 例 数	373	385	450	441	443

遺伝カウンセリング件数

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件 数	273	280	188	189	166

セカンドオピニオン

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件 数	1,137	1,245	1,276	1,231	1,112

相談件数

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
医 療 社 会 福 祉 相 談	4,377	5,084	5,866	6,159	7,503
〔内訳 電話相談〕	2,039	2,598	3,014	2,859	3,641
面 接 相 談	2,299	2,422	2,816	3,250	3,822
メー ル 相 談 (平成31年4月～)	39	64	36	50	40
就 労 相 談	23	7	11	9	17
就 職 相 談	70	47	60	65	106
両 立 相 談	8	0	4	4	4

研究業務

愛知県がんセンターは、がん患者の診断治療を行うのみならず、明日のがん医療につながる研究業務の実施も主たる設置目的の一つに含まれている。この目的のため、病院部門における臨床研究と研究所部門における疫学研究・トランスレーショナル研究の推進と統合を図り、総合がんセンターとしての機能を発揮している。

令和7年度における研究課題は、次のとおりである。

重点プロジェクト研究課題

がんゲノム予防医療プロジェクト

- 1 大規模病院疫学研究をベースとした環境要因・遺伝要因を用いた散発性がんの個別化予防を志向したエビデンスの創出研究

がん超精密医療プロジェクト

- 1 分子標的治療薬を中心として抗悪性腫瘍薬に対する効果予測、耐性機序解明に関わる基盤形成
- 2 難治がんPDXモデルを用いた革新的創薬プラットフォームの構築

がん免疫ゲノムプロジェクト

- 1 がん免疫ゲノムデータを基盤とした革新的な抗原特異的免疫治療法の開発
- 2 次世代免疫細胞療法開発に向けた基盤技術構築

がん情報革命プロジェクト

- 1 愛知県のがん医療の評価と向上のための、院内がん登録を中心としたデータベースの構築と住民ベースがん登録情報の活用
- 2 人工知能・機械学習技術を用いたバイオメディカルデータ解析基盤の開発と活用

研究所における分野別研究課題

がん情報・対策研究分野

- 1 がん登録情報を用いた記述疫学的手法によるがん対策・医療の評価
- 2 記述疫学研究に基づくがん情報の整備と発信

がん予防研究分野

- 1 各種がんに対する分析疫学的解析による、がんリスクと繋がる遺伝的・環境的要因、並びにその組み合わせ効果の解明
- 2 上記結果に基づく個別化予防プログラムの開発

がん病態生理学分野

- 1 がんの発症・悪性化における微小環境の役割の解明
- 2 転移の分子メカニズムの解明と予防・治療標的の探索
- 3 がん悪液質の病態生理解明と治療戦略の基盤構築

分子腫瘍学分野

- 1 悪性中皮腫の発がん機序の解明と細胞生物学的研究
- 2 細胞特性に基づくがんの新規診断法・治療法の開発研究

システム解析学分野

- 1 動的数理モデリングに基づくがん細胞制御システム推定手法の開発およびその応用
- 2 機械学習に基づくタンパク質間相互作用予測手法の開発およびその応用
- 3 大規模臨床検体シーケンスデータ解析に基づくがんエコシステムの探求

腫瘍制御学分野

- 1 がんにおけるシグナル制御破綻機構の解明および治療戦略創出への応用
- 2 細胞間コミュニケーションを介したがん進展メカニズムの解明

腫瘍免疫応答研究分野

- 1 キメラ抗原受容体ナチュラルキラー細胞による養子免疫細胞療法の確立
- 2 ナチュラルキラー細胞のがん免疫を賦活化する創薬の探索・開発とその作用機序の解明

腫瘍免疫制御トランスレーショナルリサーチ分野

(選考中)

分子診断トランスレーショナルリサーチ分野

(選考中)

がん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野

- 1 各種固形腫瘍に対する新規分子標的治療開発
- 2 承認済み分子標的薬における初期・獲得耐性機序の解明・克服

異分野融合研究開発分野

- 1 バイオインフォマティクスや機械学習を活用した革新的な創薬や医療の開発

先端イノベーション研究開発分野

- 1 ケミカルバイオロジーと有機合成化学を基盤とする新規分子標的治療薬の開発

特許の状況

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
発 明	件 数	1	1	7	2	2
出 願	件 数	0	2	7	2	1
登 録 件 数	年 度 当 初	18	16	13	10	10
	新 規	2	1	0	3	0
	権 利 消 滅	4	4	3	3	3
	年 度 末	16	13	10	10	7
実施許諾件数	年 度 当 初	3	3	4	2	1
	新 規	0	1	0	0	1
	満了・解約	0	0	2	0	1
	年 度 末	3	4	2	2	1

(注) 出願件数には外国出願、国際（PCT）出願を含む。

研究所欧文原著論文発表研究

(単位：編)

令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
94	111	116	93	96

公的研究費獲得状況

(単位：千円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
文部科学省（日本学術振興会）補助金	金 額	89,599	65,179	140,754	126,220	126,077
	件 数	31	21	25	18	3
文部科学省（日本学術振興会）基金	金 額	67,288	86,177	90,870	80,099	92,817
	件 数	53	72	75	79	81
厚 生 労 働 省 補 助 金	金 額	10,450	8,130	13,291	1,200	5,050
	件 数	6	6	6	3	3
AMED（日本医療研究開発機構）	金 額	200,815	246,581	289,342	260,277	342,384
	件 数	47	49	45	43	51
J S T（科学技術振興機構）	金 額	16,900	77,174	53,877	39,000	26,658
	件 数	2	3	3	1	3
国立がん研究センター研究開発費	金 額	10,470	10,610	12,000	10,670	7,106
	件 数	5	6	8	18	16
そ の 他	金 額	330	1,320	330	0	19,096
	件 数	1	1	1	0	2
計	金 額	395,852	495,171	600,464	517,466	619,188
	件 数	145	158	163	162	159

※年度途中退職者、前年度からの繰越金、外部機関への配分を除く

【参考：研究所分のみ】

(単位：千円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
文部科学省（日本学術振興会）補助金	金 額	87,227	63,359	139,194	126,090	125,427
	件 数	26	19	23	17	2
文部科学省（日本学術振興会）基金	金 額	46,488	41,639	48,464	39,975	63,262
	件 数	32	33	37	34	43
厚 生 労 働 省 補 助 金	金 額	1,350	1,050	850	900	650
	件 数	3	3	2	2	1
AMED（日本医療研究開発機構）	金 額	138,497	205,177	193,336	192,352	217,097
	件 数	17	26	23	20	22
J S T（科学技術振興機構）	金 額	16,900	77,174	53,877	39,000	26,658
	件 数	2	3	3	1	3
国立がん研究センター研究開発費	金 額	4,100	4,500	3,000	3,500	3,300
	件 数	4	5	5	7	6
そ の 他	金 額	330	1,320	330	0	150
	件 数	1	1	1	0	1
計	金 額	294,892	394,219	439,051	401,817	436,544
	件 数	85	90	94	81	78

※年度途中退職者、前年度からの繰越金、外部機関への配分を除く

類似病院との比較

項 目		愛知県	順 位	静岡県	千葉県	宮城県	埼玉県	神奈川県	大阪府
		がん センター		静岡がん センター	がん センター	がん センター (独立行政法人)	がん センター (独立行政法人)	がん センター (独立行政法人)	国際がん センター (独立行政法人)
事業開始年月		S39.12.1		H14.6.24	S47.11.1	S42.4.1	S50.11.1	S38.4.15	S34.9.15
病床数		500	3	615	450	383	503	415	500
※稼働状況	病床利用率(%)	66.6	5	88.2	59.6	64.4	71.9	79.0	82.7
	平均在院日数(日)	11.0	3	11.9	12.3	14.5	13.2	8.6	8.2
	1日平均外来患者数(人)	588	5	1,366	577	346	917	1,057	1,280
収益状況	入院患者1人1日当たり診療収入(円)	80,213	4	76,914	80,217	63,950	78,644	92,441	100,071
	外来患者1人1日当たり診療収入(円)	72,109	1	55,672	50,175	49,862	42,264	49,476	41,002
※繰入金の状況	1病床当たり一般会計繰入金額(千円)	7,332	5	10,965	9,877	4,635	6,662	5,163	3,022
	一般会計繰入金益対経常収益(%)	14.4	4	15.6	20.6	14.5	13.7	7.7	4.7
※経営状況	経常収支比率(%)	101.0	1	99.0	95.1	93.7	95.0	97.3	99.1
	医業収支比率(%)	93.2	5	88.2	74.7	93.8	100.0	97.0	103.7
	修正医業収支比率(%)	88.3	3	87.9	71.8	80.3	86.6	89.8	98.8
	職員給与費対医業収益(%)	39.9	4	43.8	57.0	43.3	38.4	32.5	33.1
	病床1床当たり実質損益(千円)	△ 6,831	3	△ 11,931	△ 12,321	△ 6,799	△ 9,256	△ 7,052	△ 3,653
	病床1床当たり純利益(△)純損失(千円)	501	1	△ 965	△ 2,443	△ 2,164	△ 2,594	△ 1,888	△ 630
	病床1床当たり概算キャッシュフロー発生額(千円)	3,469	1	1,899	3,031	499	1,287	2,365	2,687

注1 数値は「令和5年度地方公営企業決算の状況」から報告値を愛知県が独自に集計・分析したものから転記。

注2 「繰入金の状況」、「経営状況」は、研究所に係る数値を含む。

注3 指標の算式は次による。

- ・修正医業収支比率：(医業収益－医業収益中の他会計繰入金) ÷ 医業費用 × 100
- ・病床1床当たり実質損益：(純利益・(△) 純損失－他会計繰入金) ÷ 許可病床数
- ・病床1床当たり概算キャッシュフロー：(純利益・(△) 純損失＋減価償却費＋資産減耗費＋長期前払消費税償却) ÷ 許可病床数

注4 左枠外に※印のある項目は、数値が小さい順となっている。

注5 分析の詳細は、愛知県病院事業庁のホームページの「事業報告」を参照のこと。

外来診療案内

(令和7年4月1日現在)

- ◆ 受付時間 午前8時30分（自動再来受付機は午前8時）から午前11時30分（予約の場合は午後5時）まで
 ◆ 診療日 (土曜・日曜・祝日・年末年始は休診)

診療科	診療内容	診察日
消化器内科	消化器疾患	月～金
呼吸器内科	呼吸器疾患	月～金
循環器科	循環器疾患	月・木
血液・細胞療法科	造血器・その他	月～金
薬物療法科	固形腫瘍・肉腫・その他	月～金
頭頸部外科	口腔・耳鼻咽喉・甲状腺	月～金
形成外科	形態治療・機能再建	月～木
呼吸器外科	肺・縦隔疾患	月～金
乳腺科	乳腺疾患	月～金
消化器外科	消化器系統・食道疾患	月～金
整形外科	整形外科疾患	月～水・金
脳神経外科	脳神経疾患	月・水～金
泌尿器科	泌尿器疾患	月～金
婦人科	婦人科疾患	月～金
皮膚科	皮膚疾患	火～木
眼科	眼科疾患	火（午前）・金（午後）
放射線診断・IVR科	放射線診断・IVR・肝腫瘍	月～金
放射線治療科	放射線治療・その他	月～金
精神腫瘍科	病態に応じた症状緩和・治療	月～金 〈予約制〉
緩和ケア科	緩和ケア	病態に応じた症状緩和・治療 月～金 〈予約制〉
	ペインクリニック	病態に応じた症状緩和・治療 水 〈予約制〉
	リンパ浮腫	病態に応じた症状緩和・治療 火・木 〈予約制〉
ゲノム医療センター	遺伝カウンセリング外来	遺伝カウンセリング・遺伝学的検査の提供 月～金 〈予約制〉
	がんゲノム外来	がん遺伝子パネル検査の提供 月～金 〈予約制〉

※1 遺伝カウンセリング外来及びがんゲノム外来は、自費診療の場合があります。

※2 セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています（完全予約制・自費診療）。

入院案内

(令和7年4月1日現在)

◆ 入院の申込み

- 入院希望の方は、すべて外来患者として診察を受け、医師の指示により入院の申込みをしてください。
- 入院の申込みは、本人又は代理人の方が身元の確実な保証人及び連帯保証人を引受人としてお選びになり、所定の様式「入院申込書」「身元引受書兼支払保証書」に記入して病棟1階入退院受付へ提出してください。
- 特別室（個室）に入院希望の方は、その旨を係員に申し出てください。
 なお、特別室（個室）を利用される方は、下表のとおり室料が必要となります。

区分	A室	B室	C室	D室
室料（1日につき）	37,400円	20,900円	14,300円	8,800円

(税込)

◆ 面会

【面会時間等】

平日：14時から19時まで 土日祝日：10時から19時まで

【面会時のお願い】

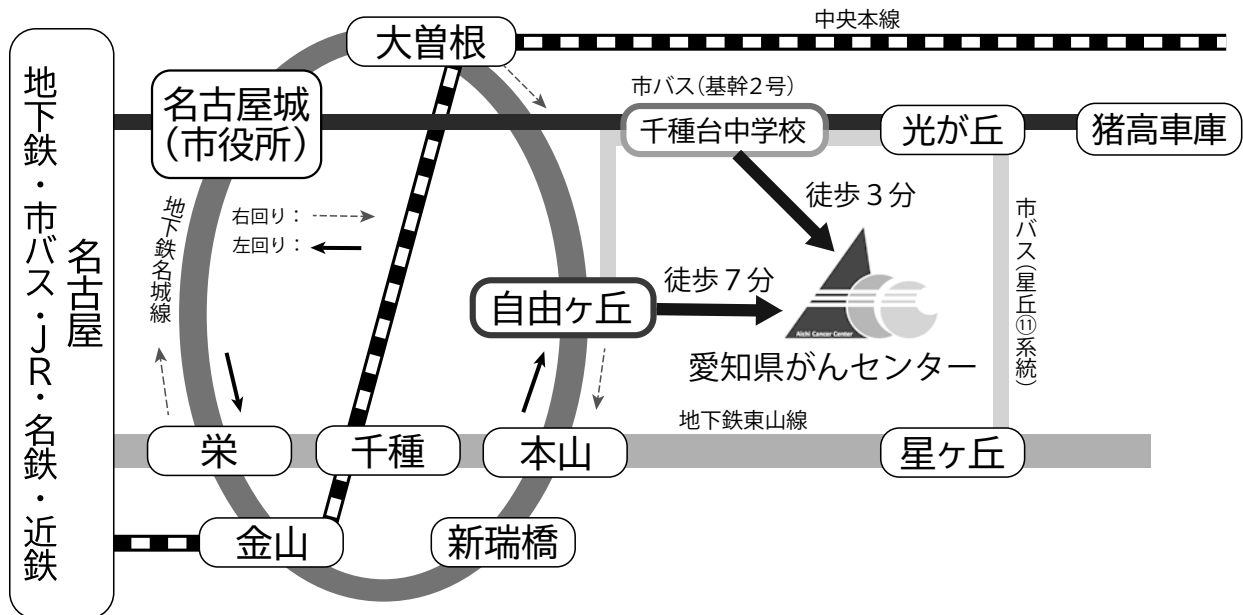
- 感冒症状がある方は、面会を行わないでください。
- 病棟にお越しの際は、必ず不織布マスクを着用いただき、手指衛生にご協力をお願いいたします。
- 面会時は、お互い不織布マスク着用をお願いします。また、面会中の飲食はご遠慮ください。
- 1日人数の上限（1日2名、30分程度）を超えての交代面会はできません。
- 直接病棟には入らず、ナースステーションで患者氏名をお伝え下さい。職員が患者さんをお呼びいたします。

【面会場所】

病棟のデイルーム、病院1階のアトリウム、個室の病室内、病棟の面談室など

- ※ 面会時、小さなお子様をお連れの際は、事前に病棟までご連絡ください。
- ※ 基準はあくまでも原則です。基準を超えた面会のご希望などがある場合には、個別に検討しておりますので病棟スタッフにお伝えください。
- ※ 市中の感染状況、院内感染の発生状況によっては、上記内容が変更になる可能性があります。

交通案内



地下鉄利用 「自由ヶ丘」 2番出口から徒歩7分

- 名古屋・栄から【所要時間：名古屋から約30分】
東山線「藤が丘」行き乗車、「本山」乗り換え、名城線「左回り」に乗車、「自由ヶ丘」下車
- 大曽根・栄から【所要時間：大曽根から約20分】
名城線「右回り」行き乗車、「自由ヶ丘」下車
- 金山から【所要時間：金山から35分】
名城線に乗車、「自由ヶ丘」下車

市バス利用 「千種台中学校」 から徒歩3分

- 名古屋駅から【所要時間：名古屋駅から約40分】
基幹2系統「猪高車庫」行き乗車、「千種台中学校」下車
- 星ヶ丘から【所要時間：星ヶ丘から約20分】
星丘⑪系統「地下鉄自由ヶ丘」行き乗車、「千種台中学校」下車

自家用車利用 本山交差点から北へ7分、平和公園の北西

- 東名高速道路「名古屋IC」から西へ約15分
名古屋ICより、名古屋長久手線（60号線）を西（星ヶ丘方面）へ2,600m進み、「打越」交差点を右折、1,600m先の「猪高車庫前」交差点を左折、1,000m先の「希望ヶ丘4」交差点を左折、300m先の左側
- 名古屋高速道路「四谷出口」から北へ約10分
四谷出口より800m先の「四谷通3」交差点を左折、北へ1,500m進み「猫洞通2」交差点を左折、1,300m先の「自由ヶ丘3」交差点を右折、400m先の右側

建物及び医療機器の一部について、年金積立金還元融資により整備しています。

愛知県がんセンター概要
令和 7 年度

令和 7 年 6 月 発行

発行所 愛知県がんセンター
名古屋市千種区鹿子殿 1 番 1 号
電話 052-762-6111（〒464-8681）
<https://cancer-c.pref.aichi.jp>

印 刷 株式会社カミヤマ
名古屋市西区那古野 1 丁目 21 番 14 号（〒451-0042）
電話 052-565-1118 FAX 052-565-1054



愛知県がんセンター

Aichi Cancer Center

特定機能病院／都道府県がん診療連携拠点病院／がんゲノム医療拠点病院